明治三十九年八月十八日第三種郵便物認可　第三千八百八十八號（一）
THE KEIJO NIPPO　大正七年五月十日
京城日報
五月九日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 前金に限り ▲一ヶ月金六十五錢 ▲三ヶ月分 ▲六ヶ月分
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
振替口座 京城三〇〇番

◎英相和議否認

英國の決心鞏固

英國外務大臣バルフォーア氏は下院に於て某中立國人が獨逸の爲に英國政府に講和の提議を爲したりとの報道を否認し此報道の起れるは前和蘭陸相コリン氏が前週倫敦に滯在したるに依る而して予は同氏が講和の提議を携へ倫敦に來れりと信ず可き理由を有すされどコリン氏は英國の決心鞏固にして獨逸が目下提出せんとするが如き提議を爲すも無效なりと認めたりと述べたり（倫敦電報）

◎ニカラガ國宣戰布告

ニカラガ共和國は獨逸に對し宣戰を布告せり（華盛頓電報）

◎親獨內閣組織中

アイヒホルン將軍麾下の獨逸兵小露西亞議會に闖入し議員と閣員を拘禁せり目下親獨內閣組織中也（哈爾賓電報）

◎朝鮮と戰時利得稅

不日施行さるべし＝臺灣は施行決定

戰時利得稅法の一部を臺灣に施行する勅令は八日發布されたり右は法人の戰時利得及び個人の戰時利得中船舶及び鑛山に關する利得のみに對し課稅するものにして收入總定額は約二百萬圓なり右收入を一般會計所屬とするや又臺灣特別會計所屬とするやは未だ決定せざるも恐らくは一般會計に編入さる可し又朝鮮に於ても戰時利得稅は近く賦課さる可く這は勅令の形式に依らず制令を以て施行さる可し賦課は同地の會社大商店主なるものなるが本店を內地に置く關係上案外尠く八十萬圓內外なる可し（東京電話）

◎法官優遇

總督府判檢事官等給與令中改正

勅令第二十號を以て朝鮮總督府判檢事官等給與令中改正八日より施行されたるが高等法院部長は勅任二級俸を給するを得京城覆審法院部長及び檢事各一人は勅任とし本俸四級又は五級俸を給し同院部長又は檢事にして勅任四級俸を受け五年を越ゆ功績ある者は三級俸を給するを得京城以外の地方法院の院長、檢事正中最上級俸を受け三年を越ゆ功績あるものは各一人に限り勅任となし俸給三千七百圓以下を給する事を得ることとなれり（東京特電）

◎獨講和提議入電と株暴落

八日獨逸講和提議の入電あるや東京株式市場は後場諸株一齊安を演じ鄕船八圓九十錢、一番東株五圓、新七圓三十錢、商船五圓六十錢、鐘紡六圓四十錢、石川島八十錢、電化工業十圓二十錢方の暴落を見たり（東京特電）

▲定期市場激落 當局の買方干涉に對し何等の感應なかりし定期市場は八日前日の二十七圓三四十錢の高値より俄然二十六圓二十錢即ち一圓二十錢方の大暴落を演せるが這は前日外米指定價格の發表されたると獨逸講和提議に刺戟されたるものなる可く今後講和說の形勢に依ては尚低落の步調を辿る可く觀測さる（東京特電）

◎日支博覽會開催同意

天津に於ける支那全國商務總會聯合會は六日日本全國商業會議所聯合會より日支博覽會開催の同意を求め來りたるに對し票決の結果異議無く同意に決せり（北京特電）

◎議員視察團 過通

衆議院議員鮮滿視察團一行は九日午前八時半釜山上陸濱田團長外五名は若松府尹、野手稅關長の案內にて市中を岡部次郎氏外六名は稅關汽艇にて南濱、草梁沿岸を視察し終つて監視課樓上に少憩の上北行したるが林事務官、伊東滿鐵社員も共に北行せり（釜山特電）

◎總監代議士招待

山縣政務總監は十日午後七時朝鮮ホテルに衆議院議員鮮滿視察團一行十三名を招待し晚餐會を催す筈なるが宇佐美內務部長官、鈴木度支部長官、松永京畿道長官、村田鑛務課長、前田憲兵大佐、青木庶務課長、芳賀醫院長、三島鮮銀理事、久保京管局長、豐永所長、國分李王職次官、工藤總務課長、林事務官、齋藤秘書課長等出席すべし

◎管理米を朝鮮に移入し得るか

三井にて問ひ合せ中

農商務省の發表せし管理外米販賣の指定價格は昨報の如く神戶庫出石當り十八圓七十五錢を標準とする事となりしが外米管理令により政府より

▲補償金の交附を得て右の安値を現出せし外國米を朝鮮內に移入し得るや否やは問題なる如し乃ち外米管理令並に同管理規則によれば鮮米を管理米として時宜により買入れをなすべしとの條文はあるも管理令により補償されし安價の外米を鮮內に移入する事は不可能と解するを至當とするものの如く目下三井物産京城支店にては念のため本件に關し本店に問ひ合せ中の由なり唯假りに廣義に管理令を解釋し管理外米の朝鮮移入を可能と見して鮮內の需要ある可かに付某當業者の說を聞くに

▲京城に移入するとせば神戶庫出石十八圓七十五錢の外米を關稅從價五分乃ち約九十四錢並に運賃石一圓六十錢を見込み二十一圓二十九錢となり結局小賣相場は二十二圓五十錢若くば二十三圓の値を現出すべく果して然らば上白との間に石四圓乃至五圓鮮白との間に三圓內外の値開きより生ぜざるに付多大の需要を見る事は滿洲粟が十八圓乃至十九圓にて輸入さるゝ實狀より察するも困難ならんと思はる又內地に於ける管理米の需要は如何と云ふに實際外米の小賣を石二十一圓とすれば內地米の相場との間に石十圓の差あり加ふるに政府にて

▲外米需要の獎勵をなすものゝ如きに付內地米と混合して用ゆる向きも假へば紡績會社貧民等に多かるべく相當食料として買附けも生じ結局米價は低落傾向を呈せずやと思はる

◎朝鮮關稅問題（上）

事前に考慮せよ＝學者の所說＝

京城商業會議所大村書記長は朝鮮に於ける關稅問題に關し左の如く語る

併合當時に我國が關係通商國に對し今後十年間朝鮮を獨立關稅區域となすことを宣言せる所謂關稅据置期限が明後年を以つて滿了に達し併せて朝鮮の財政獨立實行さるゝことは朝鮮に取つて極めて重大なる問題なるに拘はらず世間の注意は

▼甚だ恬淡で ある樣だ惟ふに問題の間際となり若くは改正案を發表された曉に種々の苦情や非難が續出して色々な運動などが起るのではあるまいかと察せらる斯る問題は實際に取扱つて居る商工業者自らが須らく事前に於て其の所見を開陳し以つて他日の支障なからしめん事に骨を折つて置くのが肝要であると信ずる統監政治が總督政治に推移せる政治的併合のみに止めて此の經濟的併合に十年間の餘裕を存せられたる理由の一が諸通商國との關係上日本の關稅法を朝鮮に適用することが併合の實現に多少の障碍となるべき虞れありしに由るは言ふ迄もないが

▼時日の經過 より生ずる現在の結果を見れば朝鮮貿易の七八分通りは最早內地關係であつて諸通商國との交涉は極めて微々たるものとなつたそこで今日の問題は外國に對する顧慮でなく唯關稅据置き期間滿了後に於ても尚ほ關稅を設けて內地との交通貿易を制限する必要ありや或は臺灣樺太の如く內地の稅率を採用して輸出入の稅のみを取締るに止むべきやの二點に歸着し若し朝鮮を內地關稅區域に包擁せば總督府は歲入の不足を何れより補塡すべきや又我が產業上に如何なる變化を來すべきやを考へ若し又移出入に課稅するやを考へ現在の獨立關稅を存置するを可とせば輸出入に對するとの區別を

▼那樣に規定 すべきやが主眼とすべき問題である我が京城商業會議所は昨秋より此事に付き多少の注意を拂ひ居る所學者政治家並に識見ある實業家に對し其意見を求めて居るのであるが今日迄に回答を得たのは神戶博士と河津博士とに過ぎない神戶博士は日本の關稅區域內に包容すべしとの論者で『朝鮮は地理上より言ふも直ぐ隣りで臺灣よりも手近かであり北海道などゝ異ならぬ先づ英國に於ける愛蘭の如きものであるが故に關稅の牆壁を設けず自由に交易し各地に適切なる產物を生產して相互に助け合うて行くことが全體上に

▼利益である 爲し得れば支那の如きも關稅同盟でも作つて我關稅區域內に入れたい位であるが若し不幸にして內地に對し朝鮮の關稅を撤廢する理想が行はれない時は朝鮮の關稅は內地に對すると外國に對するとの差等を設けぬが良い卽ち朝鮮に特惠關稅制度を採ることは得る所極めて小にして失ふ所頗る大なるべきが故に內外國不差等を勸める』と言つて居られる

◎講和說と株安

獨逸講和提議說傳はり八日の大阪株式市場に於ける船株は十圓方東株は六圓方紡績株は三圓方の下落を見たりと

◎期米暴落す

外米管理令により外米指定商並に指定價格八日發表の結果大阪並に仁川の後場は立合は一圓方の崩落を告げたり乃ち大阪は二十六圓臺に落ち仁川市場は同日前場二十三圓廿錢なりしも後場は二十二圓三十八錢となり九日前場高値二十二圓五十八錢にまで持直せしも尚ほ軟調なり

◎東拓朝鮮貸出

東洋拓殖會社の朝鮮に於ける不動產貸出しの四月末に於ける現計は八百五十一萬六千圓にして之れを前月末に比し鑛業資金貸出しその他の增あり二十五萬圓の膨脹を來し居れり尚ほ前年末に比すれば二百六十餘萬圓乃ち約四割の增加となり其の增加は土地改良事業資金多く現品及び鑛業方面の貸出しは未だ小額なり

◎移民募集好況

東拓の本年募集する第九回農業移民第一種六十戶第二種九百四十戶は過般總督府の認可を得て以來同社下の關出張所の村上所長以下所員五名は直ちに近縣に向ひ手分して移民の募集勸誘中なるが既に募集發表前より下の關出張所並に本社に移民たらん事を申し込み來れるものもある位にて最近の所申込者合計約五十戶に及び居れり尚其の締切は例年の如く九月末也

◎手形回收二萬

朝鮮銀行小額券の回收成績を聞くに未だその引揚高著大ならず八日の現在に於て回收開始前に比し約二萬圓の減少に過ぎずとの事なるも昨今各方面に對する小額紙幣の配送も終了し居るに付今後は漸次その引揚額增大し來るべし

◎臺帳施行地域訂正

大正六年總督府告示第二百一號中全羅南道珍島郡に於ける土地臺帳施行地域中に訂正を加へたる旨十日告示さるべし

◎辭令

八日附を以て左の通り辭令ありたり

陸軍憲兵中尉 都田國三
任朝鮮總督府警視

◎九州見物（六）

醫科大學

磐溪生

千代の松原は前に、背後に博多灣あり、風光に於て申分無き搭料大學は其の規模に於て、學界の權威に於て、其に申分なきもある筈なし朝鮮居住者にして福岡の大學病院を知る者の大部分は、必ず一度は病院に厄介になりたらん、我々は觀光團と言ふ申分なき境涯にありて大學を見學したるなれば申分無き事が

◎三拍子揃ひ たる理なり我々が第一番に案內されたるは法醫學の教室なり、入つて眼を驚すは薄氣味惡き屍體あり、血痕腥きイルマの著衣あり、指紋研究上世界的の新事實となりしイルマ殺しの指紋あり、古びたる屏紙あり、打撲傷生々しき面部あり、頭部あり、殺人の頭あり、見去り見來る者の寶藏、一として醜怪ならざるは無く、凄愴ならざるは無し、神經過敏の記者の如きは、眼を蔽うて廊下に逃げ出したるが、無慈悲の大學教授は、尚ほも

◎解剖室に導きて、人體のオルガンの作用を說明し、解剖臺上に橫はりし屍體を觀せ、更に皮膚病科室に案內したるは、何たる虐待ぞや、又彼れ何たる皮肉ぞや、自然すれば花に倦き歡樂に疲れたる眼に、聊かも其の宜しからざる人體の生理組織を見せつけられたる時は、餘り愉快の感は起らざるなり、殊に皮膚病科室に於て眼も口も糜爛に冒されたる模型や

◎婦人の顏面 赤爛れた手足などを見し際は、影多の享樂主義者、唯美主義者は『もう多くさん〳〵』と逃げ出したるが彼等は總ての模型が『旅行中は特に御氣をつけなさい』と云ふ物を暗示し居るかに見ゆるも知らず、一行は一時間の後、漸く深刻なる皮肉に富みたる『生の事實』の世界より解放されて再び新崎行きの電車の人となりたるが足一度校門を出づるや、今は口直しをせねば

◎胸が惡いと 囁くものあり、口直し過ぎて、○○病研究室の標本とならざれば幸なり

敵國降伏

東公園の松翠の中に居然として建てるは龜山上皇及び日蓮上人の銅像なり、多々良濱邊に押寄せたる元寇十萬空しく

◎海底の藻屑 となりし昔を史上の大遺蹟に向つて、遙かに海上を睥睨す、日本一の銅像なり、之を獨り博多市民が偉人の事蹟を萬代の後に傳へんとて建設したるもなれ共、既に玄界を隔てゝ北に、朝鮮の國を目指すの無き今日なれば日蓮の睨みも博多灣の凝視に了る可し、時勢は既に西半球の彼方に向つて『敵國降伏』の

◎記念搭を建 せざる可らざる程に轉化せり、兩銅像を西に向けては如何、祈にもなき事ながら偉人の像を仰ぎ見て、此感無き能はず

◎學校組合許可

京畿道始興郡新東學校組合設置の件は發起人荒賀熊藏外六名より許可申請中の處十日附許可の指令ありたり

◎議員視察團入京

奉天より京城への途に在る衆議院議員視察團一行十三名は八日午後九時三十分下關發九日午前九時釜山着總督府より案內の爲め出張したる林事務官の出迎へを受け十時三十分同地發同日午後九時南大門著入京投宿の筈なるが同日以後に於ける京城市內視察日程左の如し

▲十日午前 總督府、南山公園、商品陳列館、中央試驗所、工業傳習所▲同日午後 總督府醫院、李王職博物館、昌德宮、パゴダ公園▲十一日午前 女子高等普通學校、幼稚園、高等普通學校、京城中學校、朝鮮銀行▲同日午後 西大門監獄、景福宮博物館

▲日程變更 一行日程中十三日以後を變更し平壤新義州は歸路視察十三日午後九時四十分元山より直ちに奉天に向ふ旨濱田副團長より其筋に入電ありたり

▲鮮銀東拓の招待 朝鮮銀行並に東拓にては合同の上十日夜議員視察團一行を招待饗宴す

◎師團長檢閱變更

既報の如く第十九師團長立花中將は來る十二日より十五日迄龍山部隊の隨時檢閱を施行の豫定なりしも都合に依り左の如く變更せり

十四、五兩日 步兵第七十八聯隊
十六日 野砲兵中隊
十七日 騎兵中隊

◎宇佐美長官東上

宇佐美內務部長官は往復二十一日間の豫定にて事務打合せの爲東京へ出張を命ぜられたるが多分十一日頃出發すべし

◎美濃部總裁消息

東上中の美濃部鮮銀總裁は近日東京出發歸鮮の途に就く旨鮮銀に消息ありしと

◎山本氏出發

入京中の松昌洋行主山本唯三郎氏は九日午後九時五十分南大門驛發列車にて天津に直行する由

◎中國銀行總裁通過

李中國銀行總裁一行六名は九日朝京城通過奉天に向へり

◎視察團仁川視察

議員視察團十日の日程は午前八時五十三分京城發永登浦に至り皮革會社を視察後同社にて晝食を爲し午後〇時四十九分同地發仁川に至り先づ府廳の赴き築港、觀測所等を視察して同七時發列車にて歸京す可し

◎總監令息入京

政務總監令息山縣辰吉氏は八日夜來京せり

◎鶴田一喜氏送別宴

朝鮮商業銀行東大門出張所長鶴田一喜氏が今回新設の利川支店長に榮轉せるに對し東大門市場附近有志の發起にて十一日午後七時より長春館に於て惜別の宴を張ることとなれり

◎忘機吟例會

忘機吟社の五月例會は十二日午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て開催す當日の席上課題は左の如し

▲初夏野望 ▲山寺閑鵑

【木浦】

▲製油會社設立 喜多日紹社長、山岸、山田、馬場日紹取締役、武市日華製油社長、大石同取締役、其他木浦、木村、山野、本多氏等に依て發起出願中の朝鮮製油株式會社（資本金五十萬圓）を木浦に設立の件は去る一日認可せられたり同株は全部發起人に於て引受け公募せざる由なるが當地に於ては非常の人氣を以て歡迎せられつゝあれば南濱埋立工場指定地に不遠一大工場の建設を見るべしと▲野手稅關長 釜山稅關長野手耐氏は中野稅關吏を隨へ二日午後十時著列車にて來木し木浦支署の事務視察諸官公衙を訪問し五日正午發列車にて歸任せり▲海藻の出初 先月よりボツ〳〵出初めし海藻は四月の取引總計は布のり二千五百九十二斤銀杏草五百八十九斤天草二百九十九斤合計三千五百六十六斤なるが初商內の爲め價格宜しく總金額八百五十三圓に上れりと▲電信發著數 四月中に木浦局に於ける電信發著數を聞くに發信五、三四八通著信五、九〇六通前年同月に比し發信に五六〇著信に五二〇通の增加を示せり

【群山】

▲粟廻著頻繁 昨今滿洲粟の廻著の時期なるより米價騰貴の反動として滿洲粟の群山驛到著頻繁を極めつゝあるが三月一日以後四月二十七日に至る約二箇月間の群山驛到著數量は五百六十四噸仕出地別は昌圖二百六十一噸安東三十一噸奉天五十四噸四平街五十四噸遼陽百五十五噸千山二十七噸鐵嶺二十七噸にして斯く多量群山に移入せられたる滿洲粟の大部分は群山に消費せらるゝ一部を除くの外群山輸入商の手に依りて再び陸便にて湖南沿線各地方に又は船便に依り忠南全北沿岸各地に輸送せられつゝあるが近時群山輸入商の湖南沿線其他各地出張店若くは關係取引店に向け滿洲より直送せしむるもの亦た尠なからざるものゝ如し▲八幡行白米 鐵道便にて八幡方面に輸送せられたる白米は三月中百〇五噸四月中（二十七日迄）八十五噸なりし由なるが最近視察旁々米穀取引の要件を帶び來群せる八幡有力當業者の談に其の悉くを指す能はざるも不合格米の精白米材料となる傾向の認めらるゝものあり斯は全北產玄米の概して優秀なるに比して精白米の多少遜色あるものゝ如く故に八幡當業者は精白工場設備を完全し成るべく玄米移入を圖り直接精白すべき計畫ありと精白米輸出當業者は大に其材料の精選に注意を要すべし

【清州】

▲自働車試運轉 忠州より堤川に通ずる道路は既に竣成せるより六日齋藤一部長前田隊長富田道技手試乘のため同方面に出發せり▲小學校運動會 來る十二日小學校々庭に於て春季大運動會擧行の筈なるが右は年中行事の一なるを以て定めし賑合ふことならん▲橋梁の竣工期 清州より美江に通ずる西南橋架橋工事は本月中旬竣工の見込なり▲銀行設立機運 豫て京城の有力者及び當地有志間に於て銀行設置を企圖しつゝあるが右は近く成立の筈なり

人事消息

▲岡田宇之助氏（大阪貿易商） 八日入京天眞樓へ
▲吉村元吉氏（岐阜實業家） 同上
▲碓井忠治氏（遞信技師） 遞信省に於ける地方工務課長會議列席の爲め東京へ出張を命ぜらる（八日附）
▲菅田英之氏（日韓生命支配人） 前記同斷の爲め十一日入京の筈
▲中山大邱覆審法院長 東上中の所八日歸任
▲大橋慶北警務部長 八日大邱歸任

酒前茶後

◎前蘭國陸相コリン、獨外相キユールマンの講和提議を携へ、英京に潛行す。其の內容なるもの本紙今朝刊海外電報の示すもの也、苟も講和を提議せんとせば、先づ徹底せる條件を具備せざるべからず。而も本提議の、所謂條件とも見るべきものは、漠然不徹底を極め、一も具體的事項を指示し居らざるは、獨逸が其の誠意を缺げる處にして、一面より之を見れば、一種の探りを入れたるものとも觀ずるを得べく、まさか獨逸にして聯合國が、斯の如き講和を容るゝとも思はざるべし。獨逸誠意あらば、カイゼル親ら和を講ふ可し、と英紙の憤りたる、故なきに非ざる也。斯くて聯合軍の戰意は、益々強きものあらむ。

◎エルゼバム地方の人民は、同地占領の英軍司令官アレンビーを見ること、神の如く、言うて行くは『アレンビー』と云ふ、最も其の通ずる處は、『アレンビー』は預言者の言にて、アレンビーは言ひ、神の子なりと云ふ意義なれば也と。爲に部下英兵等は、毎日地方人民等より『アレンビー』の祈禱を強請せられて、何れも弱り居るとは、戰爭も種々也。

[illegible]

十一月一日現行

昌德宮のお臺所 (二)

金壺銀盤燦として人の眼を射る内主膳所の配膳室 進供はすべて女官が調理する 太祖出でゝより五百年間曾て變革なき不文律！

典膳所は——李王職の中の分課に屬して居る そして事務官の趙東源さんが調理材料の購入れから獻立表の作成に至る迄一切の事務を處理して居る、内主膳所、外主膳所、西洋料理所と共に膳務と云ふものが居て直接調理を監督して居るが典膳所即ちお臺所は流石に清潔を極めたもので下は一樣に混凝土の叩きで洗ひ場の設備又整然として到れり盡せり無論貯藏室もあれば冷藏庫もある、兩殿下日頃の進供を專ら調理する内主膳所は大造殿炎上後特設せられたもの丈に木の香尚新らしく質素ではあるが一層清潔のやうに思はれる

方五間位——の建物、東西の三方は全部硝子戸で北は廻廊によつて居間に通じて居る、内部に這入ると先づ眼を惹くものは東から南の窓に沿うて鍵形に築いた竈の上にズラリと並んだ大小の釜である、合せて恰度十二個許り其一番隅の二個は石釜で進供の御飯は之で炊くのだ相な、竈の端には爐が切つてあり其隣が洗ひ湯で西側は一帶に低い棚、割烹臺は眞ん中にある、踵を返して北を向くと御居間に通ずる廻廊を挾んで左が配膳室、右が膳務詰所——配膳室の戸棚の中には金壺銀盤燦として人の目を射る、内主膳所は大體に於て斯した外觀、斯した設備であるが調理人は

總て——の女官で中でも尙宮と云ふ女官頭が主として調理に從事して居る。此女官頭即ち尙宮は二人居て部下の女官と共に一週間毎に交代することになつて居る、此外には男と云へば膳務が一人居る許り係以外のものは容易に足踏みすら出來ない、過般李王殿下が東上せられた時なども尙宮以下の女官も扈從申し上げたが、何しろ此女官達は日々の進供を調理するのであるから兩殿下百歲の御壽命をお預り申して居るやうなもの、最も責任の重い地位にある、然かも斯く女官が進供を調理することは決して今に始まつたことではなく實に太祖出でゝより五百年間曾て變革なき李王家の不文律である相だ。

◆女官の調理振り——向つて右の端が女官頭(尙宮)の李[illegible] 右方に立つて居る洋服の人は調理監督の膳務——

後藤氏四國一周 ＝飛行に成功す

帝國飛行協會飛行家後藤正雄氏は大成功裡に四國一周飛行を終了せり(丸龜電報)

桃山中學生連袂退校

大阪の桃山中學生三百餘騷擾連袂退校を決議せり右の爲め同校にて は九日教員會議を開き善後策を講ずと(大阪特電)

中學校紀綱頽廢 佐賀龍谷中學不良團を出す

佐賀市龍谷中學の校紀頽廢し不良學生の一團は他の生徒を脅迫して金品を捲き上げなどするあり佐賀本莊村野口百一郎(一九)四明にて同學生秀治(一七)が不良團の巨魁なるらし(佐賀電報)

中學生の萬引

廣島私立廣陵中學生縣谷貫(一七)私立修道中學生隈本秀雄(一七)同狩野信雄(一七)の三名は書籍萬引にて拘引されたり(廣島電報)

食糧に困つた ◇炊き立ての粟◇に砂糖を附て

吉林會寧間を調査して ＝滿鐵飯田設計課員談

飯田滿鐵設計課員は既記の如く五月八日吉林會寧間の實地踏査を了へて入京直ちに大連に向け出發せるが氏は語る

私は三月の始めから約七十日間の旅行を吉林會寧間の山野に試みた譯であるが

▽**吉會鐵道**の敷設とか工事とか言ふ點に就いては未だ公表の域に迄達して居ないのを甚だ遺憾とする譯であるが吉林會寧間の地勢其他を觀るに山あり河あり森林ありと言ふ具合で假りに鐵道工事に着手するとしても容易な工事でない事丈けは明かである從つて期間も長くかゝるだらうし經費も餘計に要る事だらうと思はれる

▽**旅行免狀**を貰つて行つた丁度私等が旅行する時は所謂之れは種々な場合に役に立つもので各地の官公署に示すと出來る丈けの便宜を總ての點に於て與へて呉れる早い話しが此の人達は所用あつて何處其處へ旅行し其の土地を調査研究し度いと思つてゐるのだから宜しく頼むと書いてある譯た其れで私達一行五人は支那の巡警二人を連れて旅途に登つたが此の案内兼護衛の役を務める巡警と云ふものは

▽**此の地方**の旅行には是非必要なものである、あの邊は非常に危險な地方で命は三つあつても足らぬと云つた風な所だ既に警察とか言ふもの、及び離い所である丈けに馬賊等の出沒も多い其れに旅宿等も二里三里と行かなければ無い樣な未開地であつて其の上山背々、時に谷に臨み大森林を行かなければならない第一困つた宿食糧の問題である旅宿の間

題であつた米等は容易にない、時にあつても其れは極めて古くなつたもので而かも炊き方が違つて粗漏であるから寧ろ炊き立ての

▽**粟に砂糖**を用ひて食する方が増しの樣だ一行五人が日沒に辛うじて旅宿に著くと竈の上に板を渡したり卓の上に板を掛けたりして總ての旅人が一所に寢むと言ふ譯になる兎角彼の邊の旅行は隨分困難なるもので日暮れて途遠くの感がひしひしと胸を衝く、間島地方には年々鮮人の移住するもの多く殊に歐亂勃發以來は特產物の

▽**白隱元**の價格が殆んど九倍にも騰貴してると言ふ樣な關係から粟等はそつち退けで盛んに之れが收穫に努められてゐる樣だ而してあの邊迄は日貨の通用を見てゐる譯で漸次鮮人——日本の勢力が浸潤して進んで行きつゝあるのが認められる、吉林會寧間には南北兩方に二道あるが一は冬季結氷期に利用され一は夏季出水期に用ひられる而して兩者間

▽**森林狀態**の全く異つてゐる事は寧ろ不思議に感せられる一は針葉樹種を以てし他は闊葉樹種であつて面白い對照を形造つてゐる……

吉弘社長收監

京都瀆職事件にて關西日報社長吉弘茂義氏も收監さる(京都電報)

音戸の漁夫 遭難 行衞不明百餘

安藝國音戸町の漁夫家族百餘名は

東京 相撲勝負豫想懸賞十日締切

未だ救助の見込立たず

黃澗隧道續報 罹災者家族現場に立盡す

既報京釜線黃澗隧道崩壞救助作業は意外に困難にして八日午後七時に至るも未だ何時救助の目的を達するやは殆んど見込み落かぬ有樣にて遭難の日時を六日午前零時半とすれば八日午後二時半迄二夜半の六十時間に相當し午後七時三十分まで實に六十五時間に相當するを以て罹災者の家族等は生死の程を氣遣ひ呆然として現場附近に立つくし悽慘の狀惻然たるものあり(八日午後八時黃澗電話)

▼生死疑はし 同 別報

八日大田保線係に達したる報道に依れば七日午後ボーリング用のパイプを挿入して探りたるも何等の應答なかりしより推測すれば生埋めとなりたる十八名は或は窒息又は水溜り等の障害にて全部死亡し居るにあらずやと思惟せらるといふ(八日午後九時大田電話)

▼全部無事 八日夜十一時 救援作業終了

黃澗隧道埋沒者救援作業は八日午後十一時終了遭難者全部無事なりし旨大田保線係に報告ありたり(大田特電)

◎揮春觀察團 軍隊參觀 『此れでは世界を席捲することが出來ませう』

一事一物熱心駿目の揮春觀察團は九日午前九時から龍山兵營を參觀した、之より先七十八聯隊では特に諸兵聯合演習をなす可く準備

◎**新練兵場**に集合一行の到着を待つて演習を開始した、防禦陣地よりは四門の野砲を以て攻擊軍に砲火を浴びせかけ兩軍の機關銃隊廿は餘の機關銃の火蓋を一時に切りたるを以て砲聲殷々天地に轟きて物凄く、硝煙濛々の間を步兵の突擊あり

◎**壯觀**讃へんに物なく一同の愕き一方ならず時に立花聯隊長は入場し團長に對して『一行の爲に特に戰鬪演習を行つたのであるから悠くりと御覽の上批評して下さい』と言へば黃君『日清戰爭後支那兵が日本軍は恐ろしい戰をすると乾度負けると言つて居りましたが今日演習を見て戰に勝つ理由が始めて解りました此れでは世界を席捲する事が出來ませう』と心から感心するそして傍を顧みて

◎**國が亂れる**と上長官は團長までが怠けて觀戰する軍隊の實際の軍務を見ないが日本では師團長までが士氣が旺盛で規律の正しいのも皆此れが爲めだらう』と言ふ黃君は昔朝鮮の軍隊に居つた事があり西班でも四箇年間許り軍隊生活をした丈けに一行中の軍事通で勇壯な銃槍術などを見る毎に拳を握つて居た戰鬪演習の參觀を了ると正午七十八聯隊の營內を巡覽し正午下士食堂で午餐の饗應を受けた席上池內聯隊長と黃團長及び金明濬君などの間に意志の交換があつたが金明濬君の曰く『東洋には四億七千萬の民衆がある此等は日本の軍隊に依つて

◎**生命財產**の安全を保護されて居るのである云々』團長は一『軍隊の食糧は百姓が作るもの、一行中には其百姓が大部分を占めて居るから將來揮春方面にお出の時は電氣や蒸氣でこそ焚かね焚いた粟飯位ゐは差上げます』と挨拶したので拍手喝采交々起ると言ふ風で頗に打解けた午餐會であつた、午餐終つて一行は兵營を出で電車で景福宮に赴いた

◎新龍山幼稚園野遊會

龍山實業親和會、新龍山幼稚園、信用組合各團體にては十日孝昌園に於て野遊會を開催の筈にて同日午前十一時新龍山幼稚園へ參集する事となり居れりと

◎泥棒大工

三重縣員辨郡白瀨村生れ京城蓬萊町寄住大工與岡榮三郎(三二)は家屋修繕の爲め南大門通五丁目三義和商店に雇はれ中前後四回に亙り同家の二階に押入れ店員の衣類を窃取したる後蓬萊町にても泥棒を働きたる事發覺し本町警察署に逮捕さる

◎海軍記念日祝賀

在京城海軍出身有志は來る二十七日夜南米倉町烏丸に於て日本海々戰祝賀會を開催す可く目下計畫中也

◎高島呑明氏來京

高島易斷本部主事高島呑明氏は各地にて好評を博しつゝあるが今回入京淸光館に於て一般の需めに應ず

灯もと頃

▲東京天文臺の計算では[illegible]

飯塚齒科醫院 五月八日開院

夏場所大相撲懸賞

東京大相撲夏場所は十日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

(琴ケ浦 (矢筈山 (清瀨川 (錦 島 (黑瀨川
(御西山 (福 柳 (大門岩 (兩 國 (常の花
(三杉磯 (大鳴門 (千葉崎 (朝 潮 (鳳
(源氏山 (對馬洋 (大 錦 (九州山 (栃木山

[illegible]

賞品
△一等一人 銀側懷中時計一個 △二等二人 上等反物二反 △三等三人 置時計三個 △四等十五人 上等卷煙草一 △五等三十人 ボール宛

大阪期米
△九日後場 △當限寄付 △中限寄付 △先限寄付 [illegible]

◎中澤高工長勇退 京都高等工藝學校長中澤博士は[illegible]

課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一參[illegible]

天氣 大 曇り但小雨

商況

兵庫期米

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◎綿糸愈立直る 平均七八圓方跳返し 三錦は十一圓 丁度と成行きなり

◎正米氣弱見送

◎期米暴落の因 二十錢方の氣落り 二十錢乃至十五錢

◎牛皮出廻薄 屠殺牛非常に減じ割高に買進

◎洋釘小强し 投げ物絶え大連市場の

生魚市場

南大門の廻穀

下關相場

◎燐寸は漸騰 黃燐の五十二圓見當

◎洋傘は品薄 騰貴は約三割方昂

不割を脫し二圓內外の

仁川期米

▲九日前場(下放跡戾す) 先二十二圓二十錢と二十八錢大下放 大阪天候晴天 二十六圓四十二錢と昨止同事 沸騰して賣物漸く多く五十五錢と押し更に六十錢 外國米の賣下値段百斤七圓五十錢に決定發表 三十八錢と大々的暴落

市場雜觀

仁川正米

釜山穀物(八日) 氣配は大に安人氣

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人

▲期米俄然暴落

外米輸入指定條件と命令事項の發表 切急轉直下の暴落 八十二錢 外國米指定値段が所謂思ひ切つた安値 筋も稍狼狽の感 一圓切の大暴落 高値より實に

地は存外變動なく保合 入電に安氣配各 今の態度は未だ不明 利喰と新規の買物多く殊に强氣筋の防戰に大跳ね返し

仁川取引所 九日の七月限

仲買店

仁川米豆取引所

九日の七月限

▲九日後場 大阪前止め二十六圓六十四錢後寄十錢 未着先限二十二圓六十六錢と九高 △中限三節二十二圓四十錢四節四十錢 △先限一節二十二圓六十六錢七錢

◎福川洋行主收監

[illegible]び毒殺の嫌疑[illegible]禁止し漸次嫌疑の根絶を計るべしと（龍山）

◎薫る若葉

若葉は今年の如う[illegible]小川の流れに[illegible]の漣を浮かして[illegible]に白布を浸めひたたくと心地よい感じを興へる。田野の初夏の郊外には[illegible]

◎壓迫!!!底止する所無し

◇虐殺杯は朝飯前の事農具まで沒收◇

黑河よりの情報によるにブラゴエシチエンスクに於ける過激派の狂暴は今尙ほ依然たる有樣にして露人の虐殺行はれ甚だ數き無秩序狀態を現出し有產階級露人の尙ほ同地に在住し居れる者は殆んど其の大部分過激派の毒手を受け財產の沒收及び拘引さるゝ者頻りにして又地主よりは其の土地を奪取せらるゝは愚か一切の農具を沒收され斯くて混亂せるブラゴエチエンスクは愈々混亂の極に達し來りたる爲め黑河に向け避難する者愈々增加せるが避難民は孰れも極度の生活難に惱めりと（哈爾賓）

◎優勢となれるセミヨノフ軍

◆哥薩克兵の策應にて◆

滿洲里方面の狀況は次の如し（一）セミヨノフ軍の枝隊はハタダブラーク停車場に於て赤色軍の遺棄せる大砲二門を鹵獲し同地を占領す（二）セ軍のヅロッーヒン枝隊はカラスタイ停車場に於て哥薩克を召集し兵員の補充を爲したり（三）ボルジヤの赤色軍はヲロウヤンナヤ、チタ、イルクーツク、チンスク、ヲムスク各地方の勞働者兵士並に少數の哥薩克より組織され又俘虜の數は既に千人以上に達し居たり（四）セ軍に占領せられたるボルジヤは至つて靜穩なり（五）而して最近セ軍は又ロッヤンナヤ驛を占領したるが滿洲里チタ間の距離日本里數にて約九十里の間の五十餘里は既にセミヨノフ軍に奪取せられたる譯なり（哈爾賓）

◎露國最近狀

莫斯科來電（一）ウクライナとの講和談判に關する報に依れば露西亞側委員は講和談判に獨墺代表者の參加を承認しウクライナ委員は談判中露西亞とウクライナ中戰線の

軍事行動の中止

を承諾したり（二）ベルサラビヤ議會は羅馬尼との合同を聲明したるが此決議の際羅馬尼兵士議場に臨み拔劍して議員等を威嚇したりと（一）ヲムスクに於ける西部西伯利第一次西部西伯利社會黨共產主義者會議の會議に於てトムスク、ヲムスク、セミパラチンスク等に於ける各州の代表者之に參加したり（哈爾賓）

◎日本人正副會長退支命令

◆領事排斥運動の爲か◆

鄭家屯日本人會長鈴木辰平副會長奧村直也兩氏は奉天總領事の命にて向ふ三箇年間支那在留を禁止せられたり其原因は不明なるも先に岩村副領事排斥の爲め日本人會を代表して奉天に赴きて運動せしに起因するに非ずやと云ふものあり（四平街）

◎北滿電氣會社成立

露人の手に依り經營されつゝ有し哈爾賓市の電氣事業は過般全部邦人の手に移り茲に北滿電氣株式會社成立を見るに至り既に數日前市會に對し會社成立の屆け出でを爲すと共に將來發電所の擴張及

び市內電氣鐵道敷設の希望等附言したるが不日是に對する具體的正式願書は該社より市會に提出する可く一應市會を開催し右に對し市長は協議の上決定す可しと（哈爾賓）

◎賑かなりし日（奉天）

端午の節句と日曜を兼ねた五日の日曜はまた誂へ向きの好天氣で此の日は奉天はじめ長春、安奉線大連と殆んど滿洲中の運動會日であつた奉天では城內側や十間房の方で度々盛んな運動會をやつたので新市街附屬地でも他所に劣らず盛んに催ほした演技は小さい坊ちやん孃ちやんから親の小父さんに至るまで次ぎから次ぎへの面白さでポプラが新芽を吹いた附屬地公園で殆んど全日の大賑はひであつた

◇奉天の運動會◇ 五日の日曜に奉天公園で開催された奉天の運動會（寫眞は今し女の子のスープン競走（奉天）

◎滿鮮に渡つてから十四年目に行倒

◆平壤警察署の前にて◆

七日午前八時頃平壤警察署の前に一人の行倒れあり同署にては署內に連れ來りて介抱し稻葉警察醫をして應急手當を施さしめ取調べたるところ此の男は山口縣豐浦郡大嶺村七五番地高瀨角一（五二）といふものにて明治三十八年本國を出でたる儘滿洲本溪湖、安東縣等を稼ぎ歩き居りし處三月中旬より發病し働く事を得ざるより在留民の援助を受けて平壤まで來りしが前記の始末となりしものにて同署にて目下保護を加へ居れりと（平壤）

◎奉天精糖のストライキ後報（上）

◇職工側の云ひ分と會社側の云ひ分◇

奉天南滿製糖會社の職工六十名のストライキは去る四月廿一日勃發以來隨分の紛紜中であつたが先般四名の總代及び二十名の職工が袂を連ねて去つた爲め漸う〳〵に落着したやうである、當時の事情は本紙に詳細記載した通りであるが今その眞相を聞くと次の如くである、尤もストライキの總代竹內猿治（工場の運轉監督）、高津藤三郎（技師）宮秋吉郎（職工）金國忠三郎（職工）は何れも內地及び他地方に去り殘つた者は比較的中立の立場に在る者のみであるが、職工側の一人は語りて曰く、吾々は會社に對し何等の恩怨はない、併し職工として吾々の視た所を申せば去つた同僚に氣の毒の點もある、元來南滿製糖は奉天に本店を有する一千萬圓の大會社でもあるし且つ甜菜で砂糖を採るといふ新らしい事業の會社でもあるし昨秋の創立當時は態々滿鐵をやめてまで入社した連中が多かつたのである、然るに入社して見ると毎日朝の七時から夜の七時まで十二時間立ちづめぶつ通しの勞働で相當の者がへと〳〵になるまで働かねばならぬ、而して出勤時間が一分遲れると給料の一分を差引き三分遲れると二分といふ有樣である、又中には連日の激務にツイ居眠りなどして俸給を減じられたものもある、併しそれは先づ好いとして職工の憤慨したのは本年一月同僚の橋本某が工場で誤つて慘死した時である、當時會社は僅かの金を出して平然としてゐた、其の次ぎは先般職工の一人が肺患だといふので健康診斷の當日立所ろに放逐された一件である患者は北目に鐵嶺に往生して了つたが餘り可憐相だといふので同僚が會社に交涉しせめて死體をのせる板きれ一枚呉れよと云うても一向應じて呉れぬ夫れで心ある者は憤慨し冷酷極まる會社は眞つ平だといふので辭表を出す者が多かつた、處が會社では逃げる職工を追かけて之を許さぬ、遂には平素强制貯金にした俸給の三割を兎や角云つて支拂つて呉れぬといふやうなこともあつた、職工の給料は會社側では大層なことを云うてゐるが他社と比較して極めて劑が惡いのである（品上級で一斤五六十錢しか賣れぬ）また購買組合があるが之れは職工には株主が少ないので市街の店より又廉い品を買はねばならぬ、又た物價騰貴だといふので一同に三圓宛增給すると聲明したのは好いが同時に食費を三圓騰げた（つまり差引きゼロで職分人な所も）にした話しである、それで這回の要求といふのは先滿鐵の六割增給になつて、せめて三割增して貰ひたいといふのが一つ第二には現下借財に困るから三割天引きの强制貯金では生活に困るからせめて二割引きにし給料の三割を給する事第三には從來一箇月に二日分の給料を支給すると聲明してあつたのに拘らず金は愚か書付けの一つも渡したことがない、これは甚く廢して呉れるといふのであつた（職工側は極めて穩和に出て右の）三條件の內一つを容れて呉れても妥協すると云つた、然るに會社は一時間も經たぬ間に總代四人を解雇し且つ夜半なるにも拘らず即刻社宅の退出を迫つた、茲に於て六十名の者一同激昂して竹內等と行動を共にしたのである、總代は會社側からは非常な惡漢と云はれて居るが竹內はソンな男では無さそうである、と云ふのは去三月に起つた見習職工廿名のストライキに際し右の總代は北鐵應役であつた彼等は曰く『會社の（忙がしい時能く……）するな』と云つてゐた、然るに會社の云ひ分では職工の剩員があるから豫ねて出さうと思つてゐたと吹聽に及んでゐる、それにまた會社は創立以來落成式にも總一文も酒一杯も職工に與へて居らぬ、年末にも正月にも一文も出さぬ、斯んな風であるから先月も三日間機械が運轉を休止し（工場は悉つて暗闇となつて居る）

◎花盛＝リンゴ

蘋果の名產地たる鎭南浦附近は昨年來の花盛りなるが本年は昨年來の撒布にて昨年の花狀態例年に比し少く殊に紅玉の如きは開花少數の狀なるが尤も他の種類は左程の影響なき模樣なれば昨年に比して收穫は劣らざるも例年に比すれば幾分の不作を免れざるべしと（平壤）

寄書 朝鮮と森林火災（一）

谷　留三

凡そ國民經濟思想の幼稚なる時代に在りては森林が農耕の障碍物として其の犧牲となり或は濫伐開墾せられ或は放火燒燼せらるゝは各國其の軌を一にする所なり蓋し原生林產物は其の生成天然力に依るものにして資本及び勞力を加ふること鮮少なるが故に世人の之に對する財產觀念自ら薄く從て啻に森林を愛護することなきのみならず之を毀損滅失するが如きは敢て罪惡と思惟せざる者多く爲に森林に對し往々多大の損害を與へ延て社會の保安を害するに臻る等其の慘禍眞に測り知るべからず抑も林木蓄積は多年に亙り徐々に生成蓄積せられたる結果にして夫の農產物の如く普通僅に一年若しくは數年の短期間に生產收穫し得べきものに非ず而も此の巨額の蓄積を包藏する森林は概ね廣漠たる面積に跨り自然に展開曝露せらるゝを以て之に對する保護管理を忽諸に附するに於ては動もすれば天然及び人爲に依る危害を蒙るの悲境に陷ることなきを保せず而して是等森林に對する諸種の危害中其の慘害の最大にして恐るべきものを山火と爲す 翻つて朝鮮に於ける森林の現狀を視るに古來林制頗る弛廢し民衆無知にして森林に對し些の愛惜すべき所なく濫伐盜採を肆にするが如き未だ以て足りとせず到る處積年火田を行ひ徒に林木を燒燼消耗せしめたる結果として林野の大半は荒廢を極め纔に從來保護機關を具備せる陵園墓附屬森林及び隔絶せる僻陬の林地に於て稍見るに足るの林相を保持するに過ぎず而も是等天賦の富源たる森林も逐年山火頻發の爲め空しく灰燼に歸するもの殆んど擧げて算ふべからざる狀態なり今大正元年度以降の朝鮮に於ける國有林（營林廠所管國有林を除く）火災の損害額左の如し

年度	件數	面積	見積額
元年	七一	五、一六八	三〇三
二年	五三	三、八〇七	三三、三三三
三年	一〇一	一三六、八三三	一、五三一、二六二
四年	七〇	三、四四五	七、三三〇
年	一九九	五、九〇一	五、五〇四
六年	三六	三〇、一三三	三、四四一
合計	二三九	一三五、一六〇・	一、五六〇、七〇七

蠶況＝平壤

平安南道恩賜林業講習所及び同講業傳習所の養蠶は目下催青中にして五月中旬頃には掃立をなすべき見込みなりといへり（平壤）

▲京城日報[illegible] ▲懸賞六題 ▲川柳一幟 ▲締切
十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 見逆告者には五十錢書輯券を呈す 但何畫何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

人から嫌われる わきがを
◎全治して喜び御禮の山の如し 責任有る確實で早くなほしなさい
◎音尾博士先生創見 化學的療法無代進呈
藥學界に名譽ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助け……
「チセン」も進歩したるヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸藥人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も彼是迷わず一日も早く東京府淀橋町柏木百武拾番地

高等煉香油 二葉ポマード
林デツクを要せず調髮は思ひのまゝ 貴婦人は申に及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店

強胃消化錠 マーゲン
本舖 大阪田邊保榮藥房
特約店 京城南大門通二 新井藥房
大阪上本町五丁目田邊保榮藥房

品質第一
誠實第一
實行第一
キッコーリウ
最上醬油
醸造元 仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目 電話二四五番

宮內省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似僞品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり
到る所の文具店に有り 最寄販賣店にて御用命を乞ふ 日錄無代進呈 大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

塚原卜傳

第七十席　悟道軒圓玉口演

塚原小太郎は酒を飲みませんから容易に寢もやらず、越方行末を種々と考へて居ります。目は益々冴わて了ひ、少しも眠氣を催しません。三人は快い心持にグゥ〳〵と鼾の掛合、四邊は寂寥とした山中、荒寺でございます。天井裏を駈け歩く鼠の足音のみ枕に響く、夜は次第に更け渡つた、俄かに臺所の方でガヤ〳〵人聲がいたし、女の泣聲が聞わますからハテな山中の荒寺に夜陰女の泣聲合點行かずと栗田口國吉の一刀を携へ、ソツと臺所口へ來て見ると、臺所の次の座敷に先刻の和尚でございます、大胡坐をかいてガブリ〳〵酒を飲んで居る。其前の所に一名の婦人、年の頃七八歳になる女の子を連れて控へて居る。後ろの方に荒くれ男が三人ばかり、ガヤ〳〵何か罵つて居りまする。勝義は隱れて、心を定めて能く婦人を見ると、是は藤田權頭の妻お八重でございます、傍らに居りまするは娘は操、一度は驚ろき又一度は喜こんだ小太郎勝義、猶も息を殺め樣子を伺ふとは知らぬ此方の一人の荒くれ男『斯う〳〵御内儀、泣いたつて喚いたつて仕方がねへ、惡い事は言はねへから、お頭の言ふ事をウンといつて肯きなさい、俺れが玆へ連れて來なかつた節には、お前達母子は今頃狼の餌になつて疾くに食殺されて了ふのだ、夫を俺が手前達を助けて此處まで連れて來た、言はゞ命の大恩人、惡い事を云ふんぢやアねへ、お頭のいふ事をウンといつて肯けば又其内に面白い正月も來る、兎に角人は死んで花の咲くものぢやアねへ、生きてさへ居りやア面白い事もある、ハテサテ强情な女だ、そんなに剛情を張るもんぢやアねえ』と頻りに口說立つて居ります。お八重は强てと言はゞ舌を噛んで死なうといふ堅い決心の樣子ほの見わて居る。小太郎はソツと本堂へ歸つて來て見ると、三人の者は白河夜船、グゥ〳〵寢て居る。鬼小島彌太郎、鐵上野介、藤田權頭の三人を搖起し、云々と話をすると鬼と言はれた彌太郎一忠、眼を睜つて怒つたの何の『彌『倍は先刻の坊主、さういへば何となく兇惡の面構へであつたが、其れと心注かざりしは我ながら愚至極、宜い事を篤公見附けなすつた、一人でも取逃してはならん、皆殺しにして了へ』『上『心得た』と權頭だけを本堂へ殘して先に立つた塚原小太郎、續いて鬼小島彌太郎、鐵上野介の三人、臺所の次ぎの座敷へ密かに參りまして、ガラリ襖をば蹴開き、躍り込んだ小太郎勝義『小『如何に賊共、塚原小太郎勝義只今汝等を切つて落す、天罰の程思ひ知れ』と云つた時にビックリ驚ろいた彼の大坊主、坊『ヤア汝は宵に泊つた旅武士、何時の間に此處へ來た、皆な出掛つて誰も居ねへから手下の奴が歸つて來たら、汝等を殺して了ふ心算であつたが、何時か先潜りをして此の座敷へ這入つて來たのは、飛んで火に入る夏の虫、何の道汝等の命を助けて置く了簡はねへ、引導を渡してやるから覺悟に及べ』と薙刀の鞘を拂つて切つて懸る、心得たりと受流し上段下段と打合ひましたが中々賊にしては技倆の出來ます奴、傍らに控へて居りました小賊共は『ヤア此若侍味な事をしやアがつて、汝が命は貰つたから覺悟をしろ』と小太郎の後から切つて掛らうとする途端に躍り込んだ鬼小島彌太郎、鐵上野介の兩人『逃げんといつても逃しは致さん覺悟をしろ』飛懸つた小賊『ヤア此所にも居たな』と兩人へ打て懸るを心得たりと忽ち右と左へ叩き倒す。

人蔘羊羹
京城本町壹丁目 電話一八七〇番 四〇八番
ツ 津村兄弟商會

牛乳 御用
京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

曆

五月十一日　九星　舊四月二日　戊午　大安　四綠
[illegible]

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番
[illegible]

黃金館 電話二六三七・二六六六
[illegible]

稻荷座 本町五丁目 電話二參二八
[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
[illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
[illegible]

有樂館
[illegible]

しんぞう病
困難の方に告ぐ 弊家秘傳の妙藥あり 服用後直に効能顯る 御申込あれば詳報す
播磨明石 高雄家

りん病七日藥
痳除は いやでも治る奇藥也
●慢性痳病 ●急性痳病 ●膀胱加答兒 ●女子帶下
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

男春香紙
東京芝三光町 春秋庵

星印ソース
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質に於てソース界の明星なり
至る所の遊覽地旅館食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

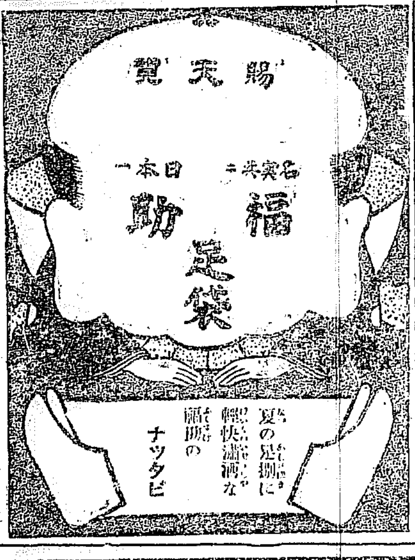
萬病感應丸
目まい 立くらみ 腹いた
急病・流行病の特効藥
本舗 大阪 正野法橋玄三 江州
販賣店は全國有名各藥店

綿セル 一反只の二圓卅錢
[illegible]

結核と免疫療法
[illegible]
發賣元 東京神田區淡路町二丁目一番地 風雲堂後藤合資會社

化粧品石鹸問屋
あらゆるもの無手數にて取扱申候
伊勢勘號
大阪市南久宝寺町三丁目 振替大阪二八二五番

大陸關門
釜山 ウスキ自轉車店
貸切自働車開設
驛前 ウスキ自働車部 電話三六二番



久枝肛門病院
痔疾專門 入院隨意
京城 明治町二丁目本町より入る中程（電話二〇二番）

信用ある東京三金の靴

ボックス革製編上靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製變化靴 第一號 金四圓五十錢 第二號 金五圓五十錢 第三號 金六圓五十錢 第四號 金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム靴 第一號 金五圓五十錢 第二號 金六圓五十錢 第三號 金七圓五十錢 第四號 金八圓五十錢
用紙付寸法 送呈
近來類似廣告あり御買求の際は東京三金に御注意を乞ふ
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇番 振替東京七壹壹參番

初夏の化粧　その二

上品な薄化粧にレート水白粉

サツパリとして氣持よく自然に上品で美しい

◎菖蒲、杜若の水際立つた美くしさ！

◇花でも初夏は◇

清楚な、輕い氣持の美くしさとなります。水際立つた菖蒲、杜若。お化粧も此季節は、「平常化粧」「家庭化粧」として、菖蒲、杜若の清々しい美くしさでなければなりません。「薄化粧」には、多く水白粉が使はれますが、これも只、薄く白く附くばかりの水白粉では前にも申したやうに、自然の花の俤、菖蒲杜若のやうな上品な中に美くしさが籠るお化粧は出來ません。

◇只の水白粉に◇

「上品で美くしく附く」といふ事を注文するのは無理でムいます。それは根本の原料や製法が、只白く附きさへすればよい、といふ美容上の原理を無視したものが多いからでムいます。

お化粧料は、どうしても責任のある製造者のものでないと、安心して、充分美くしさを發揮する事は出來ませぬ。こんな事は申す迄もありませんが、兎角近頃はいろんなものが出來て皆樣を迷はすやうでムいますから御注意迄に申上げて置くのでムいます。さて、

◇上品な薄化粧◇

は、どうしてすればよいかと申しますと、それは何も譯のない事でムいます。お肌の根底から整へて、ホンノリと白さが浮き出し、お化粧したやうでなく、自然の白さに艶がある、精分を持つて居るレート水白粉をお使ひになるのに限ります。レート水白粉の原料は非常に精選されてありまする上に、能く滋養、お肌の地を整へて上品な美しさになる、新美容素が配合してありますから

◇附けたばかり◇

でも早や、此滋養分が滲み出して來る地脂肪を留め、サツパリと氣持をよくし、清々しい美くしさとなり、外出をされても、埃汚れは決して致しません。尚、お化粧の前にレートデエリー（他にない濃厚な新美容料）を下地に引いて置いて下されば一層お化粧が生々として長の一日、お化粧崩は少しも見りません。

東京 平尾賛平

汽車時間表

京釜線（南行）・同（北行）・湖南線（南行）・同（北行）・京義線（北行）・同（南行）・京元線（北行）・同（南行）・京仁線・關釜連絡
[illegible]

京城日報　第五版
刊朝　五月十日（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價　廣告料金
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
振替口座京城三〇〇番

▲九日後場　大阪前止め二十六圓六十四錢後寄　先限二十二圓六十六錢と九高
仁川米豆取引所　九日の七月限
福川洋行主收監

議員團を迎ふ

京城日報

衆議院の派遣せる鮮滿視察團各派の代表者、一行十三名、昨九日夜入京、數日間滯在し各般の視察を遂げて北行すべしといふ。吾人は半島の首都京城に於て、國家の選良を迎へ、其の旅程の安穩を祝すると同時に、聊か所懷を披瀝して、諸氏の明察に供するの機會を得たるを欣ぶ。

我が朝鮮は每年幾十百人の視察者を送迎せしが、是等視察者は、眞に克く朝鮮の事情を了解し、之を母國の同胞に傳へ、內地朝鮮の關係をして、益々密邇せしむるの連鎖たらんことは、恐らくは視察者自身の覺悟、吾人の期待と一致したるべきを信ぜずんばあらず。然るに其來るや渠等の或者は朝鮮なる名稱に對して傳統的の若くは先入的誤解、即ち朝鮮と云へば虎伏す野邊を聯想するが如き對鮮觀念を有するが爲に、動もすれば一種の錯覺に囚はれ、自ら眼を掩うて物象を模索するの狀態にして去れるの多かりしは、吾人の甚だ遺憾とせし事共なり。幸に往年、總督施政五年記念共進會の開設さるゝや內地より知識階級なる多數の觀客を迎へて朝鮮の眞相實情が此等の人々に理解せられて大に對鮮觀念の錯誤を訂し得たるを覺ゆ。然れども日韓の併合に依りて、領土と共に、數千年の歷史を有し、古代に於ては支那の文明を傳來したる一千五百萬の新附同胞を得たるの最も慶すべき事實は、年と共に世間の注意をすら薄くするの感無からず、嘗て日露戰爭以前、東洋巴爾幹の稱ありし朝鮮の人民に對し、我國民の如何に深甚なる注意を拂ひしか、今や愛撫到らざる無き新政に悅服すれども、內鮮同化の大業は、尚未だ其半程に在るに過ぎず、我が大陸發展の前線北進するに隨ひ、我國民の視聽も亦之れに伴ふは、自然の勢なるべきも、朝鮮の經營は、我が大陸發展の基礎的事業たるを牢記せざる可からず、而して朝鮮の經營は、先づ民心の融化一致を以て第一義とす、我朝鮮の將來の進步發展は內鮮人の混和融合の力に依るにあらずんば爭でか之れを擧ぐるを得ん、[illegible]を俟ちて後知るべきにあらず、我が國の上下、朝鮮を以て本國の延長と爲し、隨つて兩地の關係に於て、歐米諸國の領有せる植民地と其の根柢を異にせるを認め、政府は又、荒廢せる朝鮮の產業を興し、遲れたる其文化を進め、內鮮人相互の理解と敬愛とに依りて同化を成就せんと圖るは、何人も一點の異議ある可からず。第四十回帝國議會に於て、朝鮮總督府特別會計豫算は、些の斧鉞を加へらるゝ無くして協贊を經、共通法其の他幾多の重要なる法令も、悉く議了通過を見たるが如き、此の理解の現實されつゝある一證として深く慶賀の情に堪へざるものあり、其審議討論の際多少事情の疏通を缺き感情の相違を生ぜし憾なきに非ざりしも是は時局に伴ひ朝鮮に對する世間の注意が一段を加へたる結果として寧ろ朝鮮の爲めに慶祝せんと欲するなり、今や衆議院の各派を代表する議員諸氏の來遊を見るあり精細に朝鮮各方面の現狀を視察する所あらんとす、吾人は其觀察の結果我朝鮮に對する眞實にして適確なる理解が斯る有力なる人々に依りて內地に傳へらるゝ一事は朝鮮の發展進步の上に尠からざる效果を及さんことを期待して歡迎せんと欲するものなり。

鮮滿在鄉軍人會に望む（三）

帝國在鄉軍人會理事　永沼中將談

凡そ世の中には冗談半分に爲し得る事もあるけれども、生命の遣取は冗談半分では出來ない。生命の遣取は眞面目の極端である。所謂一生懸命であつて何事を爲すにも

△一生懸命で　やると云ふ事は眞面目の極點である。此の故に軍事教育を受けた人間は眞面目であるのは當然で、軍事教育の根本義は戰鬪を基點とするものであるから、教へる方も教へられる方も一生懸命、眞面目と眞面目とで始めて其の教育が完全に出來るのである。此の眞面目と云ふ事を煎じ詰めれば誠意誠心と云ふことになるが、眞面目の氣分は軍事教育を受けた者に多くあらねばならぬ道理である、然るに我が邦は今や上下を通じ此の最も大切な眞面目の氣分が少ないと云ふは慨嘆に堪へぬ所である。此の間自分は哈爾賓方面を視察したが、實に混沌たる有樣で、恰かも亂麻を頭に戴き帽子を足に履かねば承知せぬと云ふ樣な有樣で、不眞面目の極度を現はして居る。彼の有樣は日本人の

△想像も及ば　ない。最も酷いのは部下の兵卒が上官の肩章を引きむしつて、著けて見たり、或ひは參謀方章を著けた兵卒が步いたり、何が何やら解らない。又此のブラゴエチエンクス地方抔では、中產階級が勞働階級の爲に殘酷な取扱を受け社會の秩序は全然無くなつて居る。彼等の心理狀態は我々には到底理解されない。而かも彼等は何處までも此の方針で進まずば已まないと云ふ考であるらしい。顧みて我が國上下の有樣如何と見れば、是亦前述ぶる如く不眞面目であつて、戰爭の氣分は寔に少ないのである、のみならず近く露西亞に於て斯かる寒心すべき實狀を呈し居ること想到すれば、我等は今に於て大に精神を鍛錬し、結束を堅くして大に狂瀾怒濤に卷込まれぬ丈けの覺悟が必要である。此の間に於て最も眞面目なるは軍人階級であらねばならぬ。換言すれば在鄉軍人即ち軍事教育を受けた者が

△社會の中堅　となつて結束を固うして行かねばならぬのである。此の意味に於ても、此の時機に於て鮮滿在鄉軍人會を大に發達せしむるの必要ある理由は充分にあると思ふ。更に翻つて獨逸の狀況如何と見るに、諸君は新聞紙上でも見らるゝ如く、敵ながら敬服すべき點が多々ある。隨つて我々の教訓となるべき事が隨分ある。現に獨軍が占領した土地には直に獨逸の農業家も行けば商業家も行き、工業家も行き、教員も行き官吏も行くと云ふ風で、實に結束が鞏固である。而して此の獨逸の結束力は一朝一夕にして出來たので無い。私が今日夫等の事を詳しく言ふ必要はないが、獨逸は百年若くは五六十年以前既に今日あるを覺悟して戰爭を爲す場合、何よりも先づ國民の

△結束力を強　うせねばならぬ。そこで國民の中堅として立つところの在鄉軍人並に將來國家の運命を雙肩に擔ふべき青少年の教育に力を注がねば成らぬ事を悟り、鋭意此の方面に手を盡し來たのであるが、其の結果が今回の大戰に現はれたのである。獨逸の軍隊は强いと言ふけれども、一朝一夕に强くなつたのではない。否な單に軍隊が强いのではない、獨逸國民が强いのである。

歸化鮮人と視察鮮人の感想（二）

槐翁

○新聞社の主催で、觀光團又は視察團の行はれた時、世人の最も聞かんと欲する所のものは、視察者の感想であらう。吾人は、曩に行はれた九州視察團員から、色々面白き感想を聞いたが、就中鹿兒島の歸化鮮人に對する感想は、最も欣快を感ずる所のものであつた。敢て今之を貴紙の餘白を借りて紹介するのは、或は世人の期待に副ふ所以かも知れぬ。

○觀察者の一人は、語りて曰く『吾々一行は、鹿兒島に於て、歸化鮮人に邂逅しましたが、他の何よりも最も愉快を感じました。彼等は壬辰の役に、島津義弘公が、第三軍を率ゐて、朝鮮に來た時、連れられて往つたのであります。彼等は最初捕虜となつて來たのではないかと思つて居るやうですが、私の見る處では、決してさうでないと思ひます。彼等は、朝鮮の長所を取らんとする島津公の大計に應じて往つたものと信じます。

○何故かと云へば、彼等は、概ね慶尚道の金海熊川地方のもので、男女合して六十餘名でありました。即ち安、鄭、李、張、朴、黃、林、車、朱、盧、羅、燕、姜、何、陳、崔、金、申、沈、白、卞、呂、延、丁の廿四姓で、その職業の種類を調べて見ると、陶器工、大工、左官、竹細工職其他の技術者であつたのです。廿四姓を網羅して居るのも、面白いが、各種の技術家を網羅して居るのも、また島津公の御企畫が偲ばるゝ所で、決して捕虜などで往つたのではありませぬ。

○島津公は、彼等を非常に愛護されたのであります。治下の三個村に居住させて、特に食祿を與へ、屋敷を與へ、山野を與へられたのであります。而して子供が一人生るれば、屋敷と祿を增加せられたのであります。かくて島津公の、彼等に對する愛護は、周到を極め、三百年後の今日では、その子孫が益々繁榮して、戶數六七百、人口四千餘人を算するの盛況を呈して居るのであります』

朝鮮の書畫に就て（一）

鮎貝房之進氏談

朝鮮は單り書畫のみでなく、其の他の藝術に於ても或る特種の方面を除いては其の材料甚だ貧弱で殆ど研究する力のないやうなものであるが、併し日本の古美術の淵源とも稱せられて居り且は既に日本の領土となつた以上は早晩具體的な研究をしなければならぬと思ふ。一體朝鮮人は書畫といふやうなものに對しては甚だ冷淡な傾きがある爲めに、古來これに關する記錄といふものは洵に僅少である。故に是非共自分々々で纏めていかなければならぬ其處で私に於きましても數年來多少蒐集したものもあり或は取調べたものもありますので、これから時間の許す限りに於て極く大體の御話をすることに致します。

○朝鮮古代の美術に就ては寧ろ朝鮮よりも內地の方に色々な記錄及び材料等が保存されて居る傾きがある。雄略天皇以降欽明天皇までの間に於て百濟及び高句麗新羅等から貢した畫工なども數十人以上も日本の方に行つて居り又其の人々等の作で今日に保存されて居るものもあります。彼の有名なる法隆寺金堂の壁畫であるとか、夫れからこれも法隆寺に保存されてあつて私共は其の模本しか見ませぬが、百濟の太子で阿佐といふ人が書いた聖德太子の像、斯樣に內地には保存されてあるが却つて朝鮮に於ては古い朝鮮の繪畫を殆ど見ることが出來ぬやうな奇現象を呈して居るのである。夫れから尚一つ諸君と共に研究したいことは朝鮮から日本へ行つた人といふものは、源を作つた人であつたか否や、そして半島人であつたか否や、又朝鮮に今現存して居る古美術（[illegible]刻畫）といふものも實際半島人の所作であるや否や、勿論渡來民[illegible]も朝鮮の土地に移住した以上は朝鮮人と謂つても宜しい譯であるが、多少の時數を要する譯で、その子孫に至つて、一種の朝鮮[illegible]を現はしたるものに非ざる以上は朝鮮美術と謂ふを得ない道理であるから茲に疑を生ずるのである。

に私は日本朝鮮に於ける古美術中には直接漢民族の手に成つたものに非るかといふ疑問を年來有して居る。このことは單に私の私論のみでなく現に內地に於ても斯道の人々が斯樣な說を立てゝ居るやうであるが朝鮮の古美術に對しても私はこの疑を存して居るのであります。今例證を擧げて其の疑の存する處を申しますると、三國時代より新羅一統まで朝鮮の畫家で今日に知られて居るのは僅に四人に過ぎぬのであるが、夫れが悉く新羅人のみで且一樣に僧侶である。高句麗、百濟の畫工に至つては一人も傳はつて居らぬのであります。四人の中で朝鮮の畫聖と稱せらるゝ率居は三國史記に依て傳へられ、他の三人は三國遺事に依つて傳へられて居る。而して率居は如何なる名畫工であつたと見れば、一の神秘的傳說に依りて傳へられて居る。夫れは慶州の古寺皇龍寺の壁に松を畫いたが、これが眞に迫つて居る爲めに鳥雀が堂內に飛込んだといふ。日本にも名工の傳說に能くある神秘的傳說を以て傳へられて居るのである。三國史記に據ると率居は新羅の人微賤の出身で族系を詳かにせずと略記してあるのみで、其の時代も出所も甚だ曖昧になつて居ります、先づ第一は其の時代は何時頃であつたかといふことに就ての疑問で、第二は即ち前に於て述べた通り朝鮮人であるか支那人であるかといふ疑問である。

愛劍趣味（六）

片岡鶴泉

日本に於ける刀の研究は今より一千二百十六年前即ち大寶年間に現はれたる刀匠天國以後に於てするを便とす。蓋し同年より嘉永まで四百八十二年間を一期と假定し和銅の頃豐前に神息出で伯耆に安綱（大同）陸奧に安房（永平）備前に寶盛（天慶）出で次で友成以下の名匠續出し山城には宗近（永延）筑後に元眞（永保）備中の青江には安次（保安）山城の粟田口に國家（天承）現はれて吉光の如き巨匠を出せり大和には千手院行信（仁平）起り豐後に定秀（永曆）出で羽州には月山の名工を出せり余や寡聞にして未だ天國神息等の實見談を耳にせず以下と雖も眞の作刀は一見者稀なるべし余は安次と月山の刀及び吉光の短刀を拜見したることあり尤も上古匠の代下り或は門下の作刀を實見して聊か研究の資を得たるに過ぎず回顧すれば大寶より嘉永年間に於て武器を使用せる重なる戰亂を擧ぐれば光仁帝の寶龜五年蝦夷を平討せられ桓武帝の延曆七年には紀の古佐美を大將軍に任じて東國を征せしめ同十年坂上田村麿をして東國を再征せしむ（當時大和には刀匠天藤あり）朱雀帝の天慶三年秀鄉をして將門を誅せしむ（陸奧に安房伯耆に眞綱あり）後一條帝の長元三年源賴信をして上總介平忠常を降さしむ（五條に兼永、河內に有國、備前に正恒あり）後冷泉帝の天喜五年安部賴時叛す康平五年には源賴義をして安部貞任を誅せしむ（五條に國永、備前に行秀あり）白河帝の應德三年源義家をして清原武衡を討たしむ（三條に宗延あり）鳥羽帝の天仁二年には平正盛、源義親等を誅す保安四年には延曆寺の僧徒京都に亂入せんとす平忠盛、源爲義之を拒ぐ（大和に是高、備前に眞則眞守、備中に安次、筑後に利成あり）後白河帝の保元元年には崇德上皇藤原賴長を召して兵を擧ぐ平清盛、源義朝詔を奉じ討て之を破る（美濃に外藤、山城に是正、備前に一文字宗國あり）二條帝の平治元年には義朝と清盛の戰あり（出羽に鬼王丸、豐後に定秀あり）高倉帝の承安二年には宋の使臣へ劍及び兵器を贈る（大和に重永、重村、備中に則高、備前に國眞あり）同四年源賴政兵を擧げて敗死す賴朝は伊豆に義仲は信濃に兵を擧ぐ安德帝の壽永二年義仲入京平宗盛天皇を奉じて西遷す（刀匠前と同じ）此の時代武士は何れも長き大太刀を脊負ひたり古歌に（劍太刀いよ〳〵研ぐべし古ゆさけく負ひて來にし其の名ぞ）拵き猛き心中に萬葉集の豪傑は何れも劍を脊負ひ又た劍の昔も皆斯る風習なりしと云ふ

日報詩壇

自題寫照　大垣　金陵

少壯出家遊四方。歸將耳順尚疎狂。天涯奔走只衣食。客裏剩贏鬢上霜。

評曰、抗情流露、語不涉浮泛、

過舊友　笹島　崇峰

歸臥山村舊雪傍。遠來行客感殊深。羈愁酒田圖醉。一夜披襟話古今。

評曰、以筆換舌、善掃胸臆、

春夜訪僧　安永　春雨

一刻千金甚。無人夜寂然。鐘沈流水外。佛點落花邊。作字評客詩。愛時憶日蓮。山門分手處。古塔月如烟。

評曰、前聯幽靜、後聯奇警、

渡遼　千盤　凌雪

南關高處眼先寬。世上紛紛我不關。片片瓊花飛北河。紫紫銀粉抹西山。日光忽現浮雲盡。搭影遙生千梵山。遼後酒餘堪痛飲。今宵踏月詠詩還。

評曰、清絶冷絶、五六自王安石午枕隨雲知有寺句來、七八殊神來之筆、

コークス販賣廣告

弊社製造ノ瓦斯「コークス」ハ爾今當課ニ於テ直接販賣可致候ニ付何卒御用命被仰付度此段廣告仕候也

大正七年五月八日

京城本町二丁目

京城電氣株式會社

營業課

（電話六〇〇八番）

小學教員受驗講義

立身の捷徑は先づ就職容易なる小學校教員となるに限る全國共不足質四萬本會は學監師範學校教頭大橋先生監修の下に最も受驗就職の便を與ふ正科一年壹圓送切速成に教授し受驗準備

定科六ヶ月卒業會則申込次第進呈●東京小石川局區內帝國師範教育會

機械學

東北帝國大學教授　工學士　宮城音五郎氏著（上五版中三版下再版）

菊判洋裝全三冊　上下各金貳圓五拾錢　中卷金貳圓參拾錢　郵稅各金拾八錢

機構學

東京帝國大學助教授　工學士　丹羽重光氏著（再版）

菊判洋裝全一冊　正價金貳圓五拾錢　郵稅金拾八錢

蒸氣機關

東京帝國大學教授　工學士　內丸最一郎氏著（第九版）

菊版洋裝全一冊　正價貳圓參拾錢　郵稅金拾八錢

蒸氣タービン

東京帝國大學教授　工學士　內丸最一郎氏著（改訂第八版）

菊版洋裝全一冊　正價金參圓　郵稅金拾八錢

瓦斯及石油機關

東京帝國大學教授　工學士　內丸最一郎氏著（前編九版後編八版）

菊判洋裝全二冊　前編金貳圓貳拾錢　後編金貳圓四拾錢　郵稅金拾貳錢

水力タービン

東京帝國大學教授　工學士　內丸最一郎氏著（再版）

菊判洋裝全一冊　正價金參圓　郵稅金拾八錢

機械設計及製圖

工學博士　田中不二氏　工學士　內丸最一郎氏　共著（前編增訂十三版後編十一版）

菊判洋裝全二冊　前編金貳圓貳拾錢　後編金參圓　郵稅金拾八錢

機械設計實用表

工學博士　井口在屋　工學士　加茂正雄　富永長閭　浦上正一郎氏編（第四版）

菊判洋裝全一冊　正價金貳圓七拾五錢　郵稅金拾八錢

東京市日本橋區通三丁目　大阪市東區備後町　京都市三條通麩屋町

丸善株式會社

沙里院出張所

沙里院地方金融組合登記事項中變更組合長任期滿了ニ因リ大正七年四月八日定時總會ニ於テ改選ノ結果黃海道鳳山郡沙里院面李忠健ハ組合長ニ當選シ同年五月五日就任シタリ

大正七年五月八日登記

海州地方法院沙里院出張所

左官建築材料

セメント石灰　珪藻土、火山灰　左官材料一式　各種色土砂　布海苔、東京品　各種塗料東京錢　左官用、東京錢　煉瓦用、種々　建築材料　各種耐火煉瓦　煉瓦、土管瓦　各種莇類製造

京城電氣株式會社製　コールタール、コークス

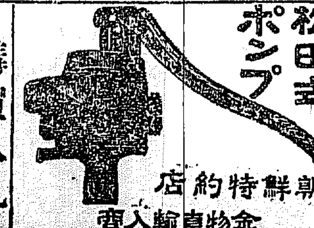
瓦斯コークス一手販賣　コールタール特約販賣　九州火山灰合資會社特約販賣店

御商　京城旭町一丁目二七　戶澤商店　電話九八四番

松田式ポンプ

朝鮮特約店

金物直輸入　釘本藤次郎本店



購買入札

綿糸壹千六十六貫匁右購買ス詳細ハ大正七年五月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

代書

裁判所前　電話三一七三

江原

◎ビータ　著荷

京城本町　電話二十七　四七五

龜屋

貴紳士用懷中時計大安賣

◎十八金側片面子　參拾參圓より
◎銀側懷中時計　參百圓まで

其他貴金屬裝身具一式有之候地方御注文は代金引替小包郵便にて御送附申上候間奮つて御用命願上候

京城本町貳丁目　電話四七壹番　振替京城二三九〇

村木時計舖

新案電氣治療機

特許諸病に奏効確實なり虛弱者も健康者となる（說明書進呈）

京城黃金町三丁目　電話一四二五番

山陽電氣商會

廣東非常國會騷擾
軍政組織改正問題=遂に解散

國會非常會議は五月七日廣東に開會、軍政組織大綱其他を附議せるが從來軍政府組織改正に反對せる民黨議員は南軍政府が公式に成立する迄孫逸仙氏をして大元帥の職に留り是を辦理せしめ又新軍政府組織に關しては更に各省の同意を求め其上にて組織大綱を決定す可しと主張し組織改正贊成議員は是れに反對して急速の議決を主張し兩派相下らず遂に腕力沙汰に訴へ議場混亂し議長初め多數の議員退場せる爲め遂に散會の餘儀無きに至り何等決議する處なかりき(廣東特電)

獨軍の戰鬪準備

獨軍は第三攻擊の失敗後一週間沈默を守り居たるがソンム、アンクル線に多數の大砲と大軍勢を集中し又新鐵道を急速に敷設し其他各機關をも整備せしめたり右は恐らくアミアンに對する大々的戰鬪の準備なるが如し猶カレーは今猶獨軍の目標なるべし(倫敦電報)

附記 カレーは佛蘭西北部ドバー海峽に臨める英國に渡る要津也

對羅平和條約調印

羅馬尼と獨、墺、匈、土、勃、各國との平和條約は七日ブカレストにて調印せられたり(倫敦電報)

東清鐵道役員決定

獨立せる東清鐵道會社の役員次の如く決定せり

總裁 郭宗熙、副總裁兼長官 ホルワツト、理事 顏世清、ウスルワルコフ、コルチヤク、エデンスキー、ブチロフ(露亞銀行總裁)スラウタ(東清鐵道商業部長)

此外鐵道部長民政部長を新設し後者には前民政長官アシアナエフ中將任ぜらる可し因に烏蘇里鐵道は現狀維持として依然東清鐵道廳の管轄に置かるゝ(哈爾賓電報)

米國第三回自由公債

米國第三回自由公債應募者總數は三千萬に達す可し計算表は尙完成せざれども總計は確に三十五億弗以上に達す可し(華盛頓電報)

帝國軍人後援會總會

帝國軍人後援會にては九日午後二時築地水交社にて總裁伏見宮貞愛親王殿下の台臨を仰ぎ第十九回通常總會を開催せり堀內副會長以下役員、海陸軍の將星參集松村部長より事業報告ありたる後總裁宮殿下より令旨を賜り堀內副會長奉答し寺內帝國在郷軍人會長其他の祝辭あり同三時閉會せり(東京特電)

外米賣出開始
十三四日頃より

農商務省にては十七日迄に內地の外米買入れを終了し後賣出しを開始する豫定なりしも今回賣出しを早め既に買上げたる外米は十三四日頃より指定商人に賣出さしむる事とし一方外米大輸入準備として來る十一日橫濱發伏見丸にて技師を蘭貢方面に派遣すべしと(東京特電)

大阪財界便り

△銀貨本位の趨勢 …分案を提出せんとするあり各交戰國は之れに對する金銀貨準備額は三…國に於て銀塊銀貨の集收に苦心し十億弗內外にして銀貨の準備極め…て各國は金保證準備の困難なき…銀を保證準備となし銀貨は商業…

河上監事視察

八日滿鐵監事河上謹一氏來長當驛及び寬城子の滯貨狀態を視たる上九日吉林に向ひ吉長鐵道を視察の上十日引返し大連より歸國する筈(長春特電)

福岡商業生去來

福岡商業學校生徒二十一名は九日夜大連より來奉十日視察の上十一日安奉線にて朝鮮へ向ふ筈なり(奉天特電)

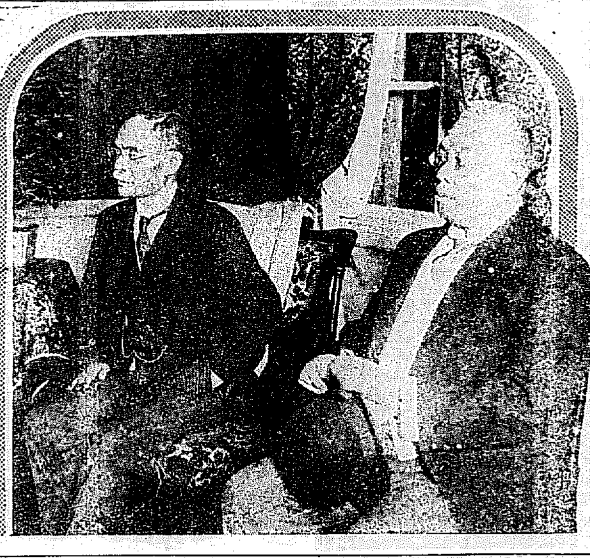
化粧品商視察團

東京化粧品商組合視察團は九日夜急行にて奉天通過長春に向へり一行は十一日夜長春より引返し十二日奉天視察の上同夜安奉線にて朝鮮に向ふ筈なり(奉天特電)

總督會寧視察

長谷川總督一行は九日朝六時五十分清津發臨時列車にて會寧に向ひ同十時十五分會寧著、停車場には軍隊、官民有志、學校生徒等出迎へたり總督は騎馬にて旅館に入り晝食後午後一時郡廳に至り各官衙長官、民間の主なる者に接見せり後小學校、普通學校、慈惠醫院、憲兵分隊、守備隊、工兵隊等を巡視、同四時旅館に歸りたり(清津特電)

山縣政務總監と濱田團長=九日夜南大門驛貴賓室にて



功を急ぐ可らず
=朝鮮統治と吾輩の所懷=
濱田副議長車中談

九日夜入京したる衆議院議員鮮滿視察團長濱田副議長の車中談に

視察團は兩方に別れ、我々一行は北組で鮮滿及び北支那を主として視察する筈だ、歸京は多分六月の二十日頃であらう、往路平壤、新義州に下車する積りであつたが

◆四鄭鐵道を 見度いの爲めで、之を新たに日程に加へた爲め、右の兩地は省くことにして、一行は十三名、左樣各派から拔いて拔き出した所謂吳越同舟だが至極平穩な旅行を續けて居る、南組は先づ臺灣を視て香港に渡り、主として南支一帶を視察することに成つて居る、此方は團長の澤來太郎君を首め、隨分論客が多いから、嘸かし賑かなことだらうと思ふ、政變ですか

◆我輩の觀測 する處では可能性を希むで來た樣だ、但し斷ずることは出來ない、山縣公も此際平田子を出す譯にも行くまいし、されぱとて原政友會總裁では纏りのつかない理由がある、仍で問題は西園寺侯の起否如何に依つて決する譯だ、本野前外相の辭任は、全く病氣の爲めらしい、後藤男の外相就任は

◆別段の意義 はあるまい、今日の場合ア、するより外に致方が無かつたのであらう、而して又それで差支へはあるまい、處で朝鮮は何うです、吾輩は七八年前に來たことがあるが、釜山から此方沿線の狀況を見ると大分變つた樣だ、今回は專ら社會的、經濟的事情を調査したいと考へて居る、總督政治に對する吾輩の感想ですか、吾輩は先づ功を急いではならぬと云ひたい、總督政治の

◆主たる目的 は、內鮮人の同化に在るのだ、此の同化事業が、一朝一夕にして成就さるゝものではない、國民が氣永に當局に信賴し、當局も亦急がず騷がず着々武步を占めて行くべきである、之に對して當局は如何なる方針を持し、如何なる施設を爲しつゝあるかは、吾輩の最も聞かんと欲する處である、時に君等は文官總督を置くの可否を考へたことがあるかね、文官總督說は、實は

◆同化事業に 對する懸念が主因に成て居るのだ、が尙少し早過ぎるだらう、武官總督をして完全に基礎的事業を行はしむるんだね、何は兎もあれ新領土のことは國民全體が一致して處理しなければならない、無論我々と雖も政黨政派の關係を超越してのことサ」と話す中にも一行の『アアヤマ』…座席に突立つて『萬歲』と呼びかける者がある、温和しいと濱田氏の言つた北組がこれだもの、南組の盛んな有樣が思ひやられた

漆器輸入制限

漆器類等に對する米國輸入制限品目表適用方に關し其筋の發表する所に據れば米國第二回輸入制限品中に漆器を含むや否やに關する米當局の說明によれば米國稅關にては漆器類として一律に取扱ふことなき故特定の物品に付格別に決定するの外なく例へば盆の類にして個々の漆器が稅關に於て如何に取扱はるゝやに依りて定まるべく而して所謂『パピエマシエ』に屬するものは制限品目中『紙及び紙製品』に又机の如きは『家具類』に含まる譯にて制限品『家具類』中には關稅番號一七六及價格の主成分に從ひ一六七、一七三、三一八、三六八に組入れ得べき一切の家具並に三七六に組入れ得べき一切の精巧家具を含むこと解釋表に示す通りなりと

東拓株好氣配

內地株式市場に於ける東拓株は最近七十六圓(五十圓拂込)を示し最近約三週間の昂騰を告げたるがこれは東拓今期の配當を五厘增配年七分と見込みしためたらんと

富平々野開拓
山本氏の企業

松昌洋行主山本唯三郎氏より總督府に出願中なりし京畿道富平郡に於ける土地改良灌漑事業は七日附認可を經たるが事業の內容は未だ詳報の期に達せざるも富平々野約六千町步の耕地を水田となすため漢江より大規模の汲力揚水にて灌漑を行ふと同時に海岸部には防波堤を築造して海水の浸入を防ぎ一區分を合有せる土地は前記の灌漑水にて洗滌せんとするにあり工事は大正水利事業を擔當せし貴海社の松山工學士擔任する事となる模樣なり尙ほ富平々野の土地改良灌漑事業は當局の意を享け東洋拓殖會社に於ても計畫中なりしが東拓にては山本氏の目論見を聞き協商の結果其の事業より手を引く事となり居れる由

獨逸講和提議に就て
講和は到底不可能=久水外事課長談

昨今到著の倫敦電報は獨國の講和提議を傳ふるも吾人の從來聞き得たる裏面の消息より推測すれば此提議は容易に英國始め聯合側の受諾する處とならざるべし聯合軍總司令官フオツク將軍の戰略として漏れ聞く所に依れば獨軍の西部戰線に於ける退却は或る程度迄は豫定の行動に依る者にして敵軍に損害を受けしめつゝ其戰線を遠距離に涉らしめ勢力を疲弊せしめんとするに在り現に獨軍は十八歲迄の青年を戰線に立たしめ些の豫備隊をも存せざるに引替へ英佛軍は未だ少しも豫備隊を使用し居らず敵の疲勞困憊する時機を待ちて其總出動を爲し新來の米軍と相合して敵を殲滅し最後の大決勝を爲さん意圖なるが如し故に獨國側の其奏功を焦慮するに反し聯合軍は悠容迫らず綽々たる餘裕を存し進み居る者にて此際互讓的講和を許するの必要なきなり現下の形勢を以てすれば獨逸は自己の提案より幾割の讓步を爲すやも知るべからざれども聯合國は當初の大目的を貫徹するに稍や近き程度に達せざる限りは之に應ずる事なかるべし

泰川水田增加

東洋拓殖會社にて施設せし平北泰川水利事業の蒙利地域中本年に於て幾何の水田を增大するやに付聞くに全豫定面積二千町步中約六百町步は砂地なるため當分水田となさゞる方針に付其の灌漑面積は一千四百町步內外に留まる譯なるが右の內昨年までに六百町步に擴大し本年は約三百町步乃至九百町步となす豫定なり尙ほ同地方は直播を主とし水田經營をなす風あるも專ら直播は移植に比し不利なるに付會社にては直播を當代仕立移植方法に改むるやう農民に對し種々の手配を講じつゝありと

師團長官邸園遊會

十二日正午龍山師團長官邸に於て園遊會を開催し龍山民間の主なる者十數名及び步兵第四十旅團幕下の重なる將校を招待すべし

朝鮮鑛業會總會

朝鮮鑛業會にては來る二十六日午前九時京城ホテルに於て總會を開き會務の報告及び各案の附議あり終つて午後一時より同所に於て二十四五日頃入京す可き和田維四郎氏の講演ある筈因に同會にては同日午後七時より朝鮮ホテルに於て懇親會を開く可しと

議員視察團入京

衆議院議員鮮滿視察團は濱田團長以下一行十三名釜山迄出迎へたる林總督府事務官の東道にて九日夜南大門驛著列車にて入京山縣政務總監、鈴木度支部長官、國分李王職次官、工藤總務、遠藤秘書兩課長、滿鐵、朝鮮各代表者等の出迎を受け旅館天眞樓に入れり

土屋聯隊長入京

羅南騎兵第二十七聯隊長土屋篤氏は龍山騎兵中隊查閱の爲八日夜入京大和亭に投宿せるが十日迄滯在すべし

警官汽車割引券改正

警察官吏公務の爲め汽車旅行する場合に對しては其の關係官衙に於て發行する公務證券引換に汽車賃の五割引を爲すことゝなり居れるが過般來より當分の內警察官優待汽車割引券を代用し來りたるも來る十四日限り之を廢止し十五日よりは所定の公務證券を使用することゝなれり

草梁貨物發送注意

草梁鐵道驛倉庫貨物を草梁驛宛發送の場合は草梁驛を稅關所在驛と看做し外國貨物として陸路運送の取扱ひ差支なきことゝなりたるを以て各稅關所在驛荷主は注意すべしと

人の消息

▲島徳藏氏(大阪帝國興信株式會社取締役) 九日夜入京(山本旅館へ)
▲橫井仲馬氏(實業家) 同上
▲藤富千萬吉氏 九日夜退京
▲山本唯三郎氏一行 同上
▲侯爵藤浪醫科教授 日本醫學會に出席し帝大其他に於て研究中の處八日夜歸京

百體百種

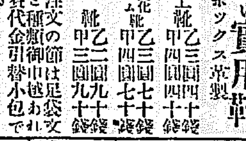
凝つては思案に能はずと云ふ事があるが無骨子主義に凝つた高木兼寬男は又た此頃は忠君愛國體操に凝り固つて居る▲過日岐阜中學校に乘り込んだ時例の一流の保健衛生論から始まつて忠君愛國體操を說き出し自ら壇に立つて一と通り其型を示した上▲扨て知事閣下を始め御一同私と一緒に私が號令をかけるから其所で試て御覽なさいと來た▲之には知事は勿論フロック姿の校長さんなども大に弱らされたが今更否みもならず椅子から立ち上ると高木男大きな聲で『忠君―愛國』『忠君―愛國』とやる其樣子は見て居る人迄が吹き出して隨喜の淚を流したとの事▲此の忠君愛國體操は舟の櫓を漕ぐ形から思ひ付いたと云ふから從々有り難いものらしい▲其のみならず男の東京病院に行くと醫員や看護婦連までが『海ゆかば―ア』と妙な調子で男一流の體操をやつて居るのは頗る奇拔ださうな▲東京市內の小學校でも男の對抗發生法に感服してシャツや股引などの着用を禁じた處もあるがまだ此の忠君愛國體操丈けはやつて居る所が一箇所もない▲何故やらぬかと聞くと『だつて彼の體操は遣つて居る先生から第一可笑くなつて思はず吹き出したくなるんだから』▲兎に角珍奇妙なものらしい

▲忠臣藏試映 …十日から大正館に上映…

▲續ミラの秘密 …

▲有樂館 九日より…

總監部御認可、衛生無害
蠅取散
室內の容氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す 戶外に出てアラユル害虫に有効
全鮮一手 京城南米倉町交番前 引請捌元 島田藥房
各地藥店雜貨店に販賣す 特約店及行商希望の方照會乞


丈夫で安い實用靴 ボックス革製
編上靴 甲四圓四十錢 乙三圓四十錢
深ゴム靴 甲四圓七十錢 乙三圓七十錢
半靴 甲三圓九十錢 乙二圓九十錢
御注文の節は足袋文數と種類御申越あれば實費代金引替小包で送る
陸軍御用 東京牛込肴町六〇 ツブク靴店

▲愈十日より提供
尾上松之助一世一代代表的大寫眞
日活會社三箇年計畫大努力の產物
假名手本忠臣藏
芝居で見られぬ前代未見の大仕掛
春季特別大興行 大正館

小野田セメント特約店
京城古市町 石炭 煉瓦 無煙炭 內地炭 咸興炭 商 苫米地商店 電話長九四一、三一〇八番

最新 一九一七年式 フオード自動車
五人乘 金壹千九百圓
八人乘 金貳千貳百圓
▲新荷著 在庫品切の虞れ有之候間至急御用命仰附被下度候
京城市竹添町一丁目 セールフレザー 株式會社出張所

醇中の醇は
ダイヤモンド レモン ヌノビキ シヤンペン サイダー レモネード オレンヂ 別布 タンサン水
幾多の清涼飲料水の內 ―どれが最も衛生によきか?
發賣元 京城本町一丁目 明治屋京城支店

ロカ式 消毒用 養蠶用 園藝用 噴霧器 各種
發賣元 大阪 路加商會
特約店 京城勸農園 京城本町三丁目電話七〇四番
山岸天佑堂 京城長谷川町五八電話一〇六番
詳細はカタログにて

…を購入し其國へ千オンスは英國のみが一般交換並に用ひられ特に…の印度入超決濟に仕向けられたる紙幣濫發の狀となり今春迄に各交…が今回米政府銀貨三億五千萬弗に…戰國の發行紙幣は百五十億弗に達…を醸する爲め各國は全力を擧げて銀塊を集收するも倘足らざる狀況なれば銀塊の昂騰は免かれず而して…通の時代となるべし

中央停車場問題

◆敷地の選定を適當に

現在の場所に大建築を起す事は京龍の連鎖を遮斷するもの

◇根本計畫が大切だ

某名士談

南大門改築を聞いて種々の希望を持つてゐる一人であるが先づ京城の地形から見た敷地の選定と云ふ事は蓋し京城將來の運命に係はる重大問題ではないか、停車場の位置の選定不適當であつたならば其の影響する處は當に旅客衛生に迷惑を蒙らしむるのみで無く延いて

◆地方の發展を 阻害し又鐵道に對しても其收益の減ずる結果を齎らす事になるのである扨斯樣な問題に入ると現在の位置は果して好適のものであるや否やと云ふになつて來るがそうなると京城は將來どれ丈けの膨脹をしなければならぬかどの方面に發展の餘地を求むるかと云ふ事にも考へ及ばなければならぬ私として考へれば將來の

◆發展地は龍山 に求めるより外はないさすれば八景生の論ぜられし如く現在の場所に大建築を起す事は京龍の連鎖を遮斷するもので決して京城の將來を考へたものとは云はれぬ停車場の立場から考へても極限された地積に建てられては運輸の膨脹に伴つて行く事が出來なくなつて來る斯樣に觀じ來ると『京龍の障礙を排除せよ』の叫びに刪措せざるを得ぬ、更に

◇停車場の設計 に當つては其土地の人情風俗或は習慣と云ふものを考慮する必要も亦見逃してならぬ事である技術上の萬全を得たからと云つても其土地の國情に副はぬ建方をしたとすれば完全な利用運轉は出來ぬのである設計者の覺悟として望み度い事は社會狀態變遷の趨勢を察して常に旅客の要求に一歩を先んずる設備を施すと云ふ事である而して此設計者は

◆單なる設計者 で無く同時に運轉者でなければならぬ理窟上で立派に出來たものが實際上に不便不利を感ずる者は世間によくある事である英國ミットランド鐵道の支配人アイパットは曾て其著書に『技術者は何れも實際の運轉作業に對する經驗を缺いで居つた爲め停車場新設に當り之れが設計を任せば出來上つたるのは只驛員が兎に角工夫して

◆車輛を操縱し 列車を仕立てなければならぬ樣なものである』と書いた處があるが之れは實際に迂遠な技術者の缺點を指摘したものである、何事に拘らず根本が大切である建物內部の設備の如きは改良するにさして困難もないが根本が間違へば一朝一夕で改良は出來ぬ事である宜しく當局たるもの此點に考へ及ぼし廣く意見を聞く可きである。

南大門驛に於る議員團一行（中央側長濱田國松氏）

讀者の希望

▲何でも停車場へ到着する時は假令自分が時計を持つて居ても停車場の時計を見るものだ新築驛は此所に考へ及んで立派な時計塔を作る必要がある然も晝夜四方から明瞭に見られるものであつて欲しい…▲…單なる一停車場として…一般の便利を圖る事が…ひたい今の處例へば釜山よりの急行が今日は定時に到着するや否や問ひ合すと大概の場合電話口に出る時間が頗る遲くサモ面倒らしく何十分延着と答へる處が其れが又た能く正確でない事が多い聞く人は従つて仕舞ふ非が現在は度々ある其の迷惑は甚しい之れは惡意でもあるまいが要するに連絡が取れて居ないからだそうだ是非之は改善して貰ひたい（某會社員）

◉朝鮮滿洲に飛行學校

＝分校設置計畫＝

河上中尉調査の後決るべし　帝國義勇飛行協會附屬帝國飛行學校にては附屬大森町飛行場にて飛行機組立中の處近く竣工試驗飛行を行ふ筈なるが同會にては朝鮮滿洲に行々分校を置く計畫あり飛行教師河上中尉は近々會員と共に釜山、京城を經て奉天に赴き飛行場の物色、氣流の觀測に從事し傍ら飛行講演會を開く可しと（東京特電）

◉ベンゾール蒸溜器設置

中央試驗所新研究　中央試驗所今年度新研究としてベンゾール製取の計畫あり今回右製取機械蒸溜器を設置する事となりたるがベンゾールはタールを蒸溜して製取するものにして染料及び藥品の主要原料となり之に依りて製造する染料及醫藥工業用藥品は約二千種にも及ぶべしと

◇慶會樓に於ける揮春觀察團歡迎會の盛況

◉惡夢より覺めたる心地

◇◇◇慶會樓に於ける揮春觀察團歡迎會

◇◇◇熱誠なる辭令を揮つて黃團長の感謝

揮春觀察團歡迎會は九日午後三時より景福宮內慶會樓に於て催さる、來會者は主賓側二十名、來賓としては宇佐美內務部長官、松永道長官、李完用伯を始め內鮮人約五十名會員としては大正親睦會長趙重應子、朴泳孝侯、兪谷府尹外約七名、賛成者は大正親睦會員市內紳士紳商約二百名の多數に上り

▽非常の盛會 なりき開會に先つて漢城券番妓生の旭日昇天舞、大正券番の歡迎舞、京和券番の文明記念舞、漢南券番の劍舞等何れも現代を謳歌したる歌舞ありたる後李王職雅樂隊の奏樂に送られて會場に入る、軈て趙子爵は立つて『昨年の春間島視察團を此處に迎へ今日又諸君を迎へて歡迎の意を表するは衷心歡喜に堪へざる所なり交通機關發達したる結果多年生死存亡の事すら相知るに由なかりし諸君と我々が斯く一堂に會し交驩をなすに際し往古を回顧すれば轉た隔世の感無き能はず今より三十六年前間島在住の支那人と朝鮮人の間に國際問題起りし時余は故魚允中氏と共に間島に赴き支那官憲と折衝したる事ありしも當時朝鮮の國力微弱なりしため

▽問題を解決 するに至らず國辱を忍んで空しく歸りたる事あり、國力の盛衰は國民生活の上に直接影響を及ぼすものなりと雖も國外にある者は其影響一層痛切なりと信ず、諸君は我が帝國の勢力の下に生命財産の安固を得るに至りたるは諸君のために慶賀に堪へざると共に一面新天地の開拓に從事したる諸君多年の努力に對しては滿腔の感謝を捧げざるを得ず、幸ひに我國に於ける各般の文物制度を視察し歸りて貴地の指導啓發に盡力せられん事を熱望す』と挨拶し未だ盡きざるに

▽總督政治に 理解を有する挨拶をなし之に對し黃團長は須永通譯生の通譯にて『我々は從來間島にありて誤解を有し居たりしも今回當地に來りて文物制度を觀るに及んで始めて長夜の惡夢より醒めたる如き感あり當歡迎會に於いて食卓を饒す處の山海の珍味よりも斯くの如き三百數十名に達する朝野の貴紳士が熱誠を以て歡迎せらるゝに對しては感謝の辭無し』と熱誠を罩めて答辭を述べ約三時間一同歡を盡して散會したり

◉天理教會靈祭

市內本町二丁目の天理教支會にて來る十四日午後一時より同教會故大熊こま刀自の一週年の靈祭を執行する由

◉新番號

＝に慣れて欲しい＝

舊番號で呼ぶ人が多い　十二の官憲會社に對し五月一日から代表新番號で呼出す事になつたが今其模樣を聞くと八日一日間の呼出回數

◉四千回 の內で其官廳會社の名で呼出した者が千七百、廢止番號で呼出しをした者が千五百に達し新番號を用ひた者は僅に八百に過ぎなかつたさうなが改制の番號簿を配達濟の今日尙此の實況で見れば如何に世人が

◉番號簿 を見て通話する事が尠いと云ふ事を知る事が出來る交換手は已むを得ず舊番號は一々斷はり新番號を示して接續し注意を喚起する事に努めてゐる有樣であるけれど何分多忙の際一々斷り切れない事もあるので當分加入者が

◉新番號 に通曉する迄は其便宜を計り舊番號で接續する事もあるが新番號の出來た以上は左樣に何時迄も舊番號を使用する譯にも行かず

◉使用者 は可成早く新番號に馴れるか又は名稱で呼出して貰ひ度いものだと當局は語つてゐた

◉鍋島侯の養子と自稱して

宿泊料を踏倒す

釜山から何と京城の宿を

四月二十二日夜京城南大門通五丁目櫻屋旅館に學生風のハイカラ青年が泊り込み宿帳には東京市神田區三崎町飛行家鍋島武男（二〇）と記し『自分は

▽鍋島侯爵家の養子にて過日朝鮮總督府から選拔され飛行機研究生として英京倫敦に派遣さるゝことゝなり今一名の同行者も不日訪ね來る筈だ』との振れ込みに人も怪しむ所なく數日滯在させ一先づ六圓餘りの宿泊料を請求したるに無一文なる事判明し其の筋本町署に突き出せるより同署にて取調べの結果鍋島とは全くの

▽化けの皮 にて岩手縣九戶郡久慈村生れの南部五郎事前科一犯の宮澤國次郎（二二）と言ひ四月四日雇主なる東京下谷區竹町の金銀工商野村某方にて金指輪一個を…

◉相撲開場

休場力士續出

▲然かも斷然十日に　▲初日を出すに決す

東京大相撲は流行性感冒その他にて東西幕內力士に病人多く十日開場の如何を危ぶまれたるが協會幹部に於て評議の結果十日初日に斷行することに決し九日朝初日取組を作り午前十時發表同時に吉例の觸太鼓を廻したり初日の取組は左の如し

△初日取組

（御西山）大ノ里（岩木山）（宇都宮）
（太刀嵐）錦洋（琴ケ浦）（大錦）
逆鉾△（逆ノ矢）（釋迦嶽）（八甲山）
敷島△土州山（鬼鹿毛）矢筈山
大ノ里○綾川○駒泉○兩國
錦島○黑瀨川○大戸平○常陸山
（常ノ花○宮城山）對馬洋△藤ノ川
源氏山（大門岩）（栃木山）
三杉磯（千葉崎）（清瀨川）
鳳△…

▽休場力士 大錦は足の痛み西ノ海又足の病氣、朝潮、伊勢ノ濱、九州山、浦ノ濱、大潮、紀乃川、石山、一港等は流行性感冒の爲め何れも休場せり

◉京畿道電話呼出方

京畿道廳では局番代表番號として六〇〇番を使用する事に變更された其の通話方法注意を示すと次の樣になる

一執務時間中 本道へ通話せんとせらるゝときは右代表番號を呼出し本道交換手の應接を俟つて構內番號又は係名を呼ばるゝ可し

一執務時間外 構內交換閉鎖後は局交換手に左記の通り（四）本使室（五）官房（二）會計（三）…（一）第四（四）居殘者

構內電話番號は異動せず構內交換時間は執務時間中及び其の前後各一時間但し土曜日は後二時間

◉商銀東大門支店新築

朝鮮商業銀行にては南大門支店の新築を近く行ふ事となり不日建築工事の請負入札をなすべしと

◉簡便なる蠅取器

從來蠅取器は破損し易く且つ價格も高價のため一般家庭に普及し難き憾みありしが今回京城平田商店より發賣せる蠅取器は全部金屬製なるを以て破損の憂少なく且つ安價にして公衆衞生上益する所少なからざるべし

商業登記公告

水原電氣株式會社登記事項中監査役任期滿了ニ付大正七年四月貳拾八日改撰ノ結果韓相鳳野中末吉再選京畿道水原郡水原面南昌里九拾九番地酒井政之助新ニ當選就任

右大正七年五月六日登記

京城地方法院水原支廳

最新刊

書名	著者	定價
勞働經濟講話		一、八〇
戰後の事業	東方經濟研究會	二、五〇
普通動物圖說	內田岳小野久七	一、八〇
人造肥料自家製造法	矢崎彥八	九五
心身攝養代表的强健法	白井	一、五〇
家庭教育子供のしつけ方	菊池	八五
實際秘訣日々の作法	松島双葉	九五
川	德浪	一、五〇
縮刷世間學		九〇
算術自由自在		一、四五
鋼筋の懺悔		一、二〇
科學新謎の自然界		一、五〇
發	田山花袋	一、五〇
現代新俳句	藤崎	九〇
小說入門	德田秋江	五〇
論文作法	生田長江	五〇
描寫の心得	小川未明	六〇
縮刷尾崎紅葉	小栗風葉	六五
例解 英文典新釋	清水	九〇

京城本町一丁目六八四　電話二〇八六　振替京城二五七三　大阪屋號書店

第二回 公開

初日以來連日連夜滿員滿都愛活家を狂熱せしめたる珍無類の大怪劇

不思議 々々 又不思議

ミラ孃の魂……怪奇なる機により自ら拔け出て……そうして魂は何處に行くであろうか……

ミラの秘密

ミラよミナコイ〳〵　第三篇三十一卷の內　十五篇四卷　四篇四卷

十日より　黃金館

四郎五郎 延十郎 大活躍　舊劇 元和三勇士 全四卷

熊谷、五味、山田九州男出演　新派大悲劇 情の炎 全三卷

勸業債券高價買入

貯蓄の實行は最も手輕なる月賦賣

一ノ組 六十八回 六十七回 拾圓券二枚組 初回拂込著金番號通知次回二十七回

二ノ組 六十七回 六十五回 初 …

三ノ組 六十八回 六十四回 初 …

二千圓の福德 毎月くじの樂める組賣

支部代理店出張所增設　全國樞要の都市郡區に…有希望者は…

東京丸の內有樂町一ノ三　振替口座東京壹壹七六　大日本勸業合資會社

朝鮮總督府中央試驗所發明　各官衙指定品

エーアイ塗料　ルミナ金屬磨　販賣

◇エーアイ塗料用途　屋根、天井、トタン、家具、煙突、パイプ、瓦、石、セメント

◇エーアイ塗料ノ特徴　耐水性甚大ニシテ風雨寒暑ニ耐エ粘着力强ク…

△ルミナ金屬磨用途　眞鍮、銅、ニッケル、錫、其他鐵ヲ除キ一切ノ金屬ヲ磨ク…

朝鮮一手販賣元　京城太平通二丁目（電話七二七番 振替京城三二七九番）　石炭商 西崎商會

易斷

高島易斷本部主事高島香明先生出張　受付午前八時より十一時まで午後二時より十時まで　場所京城本町一丁目清光館內（電話一三五〇）

神易協會　高島易斷本部

建築陶器並に衛生工事材料一式　手洗並に洗面器　附屬金物類　和洋便器　直輸入及製作販賣

京都 Ⓣ 富永製作所　京城黃金町（電話一二六一番）

朝鮮代理店　建築材料　石田商店

元祖尾張時計株式會社製品　專賣特許　蠅獲器（ハイトリック）　新形 四圓二拾錢　舊形 四圓

其他時候向和洋諸雜貨各種　近來諸物價甚だしく高騰仕候折柄此際一種の努力を加へ價格低廉に品質精選み御需に應じ聊か年來の御眷顧に酬ゆるの覺悟に御座候間不相變御用命之程奉願上候　尙地方御註文は迅速荷造完全に發送可仕候

和洋雜貨家具　京城本町一丁目　Ⓗ 平田商店　電話六九五・三二八番　振替京城壹〇八三番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　電話一六八〇番 二六〇〇番　酒井婦人病院　院長 酒井一郎

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

朝鮮銀行　京城　振替貯金口座京城三二二番　電話六、〇一〇番

支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、木浦、群山、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口

出張所　傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

花吹雪 (二十六)

大阪 中谷青霞

「やアさては音に聞えた月岡の飼殺し藤沢しの清兵衛とな、むー見覚えのある面構へ、少しは骨があつて遂引が面白い。建部が刀の切れ味見せうわ。」

月明りに透し見て起き上つた建部兵馬、足元しどろに再び切かゝる町奴共これに気を得て。

『それツ。』

と云ふまゝパラ〱と討ちかゝる清兵衛はひらりと身を交はし、櫻の大枝ポキリと折るよと見ると、リウ〱と振廻し、縦横無尽に薙ぎ立てる、刄の光り月に閃いて、

清兵衛が頭上に隙間もなく降り来る電光石火、引はづして打合ふ響き、隅田の堤は時ならぬ修羅場の光景、気合の掛声水に冴えて四辺は只寂寥。

清兵衛が打下ろす櫻の大枝に発矢と打たれて一人の町奴、ウンと一声堤の上よりごろ〱と転がり落ち、ざんぶとばかり水音高く、隅田の流れに浮きつ沈みつ。

『ちえツ、兄貴を遣つたな、それ息の根止めろ。』

抜きつれて切かゝるを、飛鳥の如く飛び退ざると、刄先は櫻の古木発矢とばかり打込まれた。

得たりと清兵衛は二三歩退がつてエーと擲ち下ろす櫻の枝に、町奴の二三人バタ〱と将棋倒しに斃れる。

『いざ来よ、柳川とやら、五十に余る老耄れの胴骨呉れてやるわ。』

と仁王立ち、鬢髪乱れて衰れ夕風に弄ぶらるゝ六尺裕かの大男。

『叶はぬ逃げろ。』

と柳川日頃の勇気も頓みに挫け、其儘駈け行く背後より、起上つた奴共、一散に逃げ出す、兵馬も是非叶ふまじとや、続いて逃げんとする襟筋取つて引戻し。

『ね…怯なし、柳川、戻れ。』

と叫び乍ら清兵衛は兵馬が頬桁を骨も砕けと打叩く、兵馬は、フラ〱と眼眩んでどつかと芝生に倒れ伏す。

『や、柳川、待ちやれ。』

苦しき声に呼立つれど、清兵衛が古木の如く突立つより外、四辺に人影は更らに見えぬ。

『鬣ら吹ねたとて臆気づいた奴共今は四辺に影さへ見えぬわ。』

『清兵衛とやら、その某を傷めう気か。』

笑止や兵馬は酒の酔ひも醒め果て、顔の色も只青ざめ、苦し気に起き上らんとする、清兵衛冷やかに見下しながら、ホツと息して聲を和らげ。

『建部の若様、無體はお赦しなされませ、清兵衛決してお身様お身を傷めうなぞとは存じませぬ。』

『ならば何とする。』

と兵馬は刀を探ぐつて再び立上らうとする。

『兵馬様、暫くこの清兵衛が申すことも心を静めてお聞きなされませぬか。』

と云ひ乍らどつかり傍に腰を下ろす

兵馬は月の光りに熟つと顔色を透し見て。

『むー、して申すことゝは……』

『先づ〱これへお直りなされませ、清兵衛悪しうは致しませぬ。』

と云ひ乍ら助け起して芝生の上へ、兵馬が衣服の塵を拂うて、清兵衛は確かと坐らせた。

日報歌壇

□多々羅の濱　佐々木抽子

なみの音高く響き船に寝る今宵一夜の安からぬかも

波遠く漕ぎ去りたら貧しきに今日もかも波路はろか

韓國の旅路今は懈けにけむと寂び寞なる筑紫に住みつゝ思ふ

しづかにも肥前堺の山は燃ゆる箱島岬にわが立ち居れば

はしそはの家に匂ふも花手折れば落つる黄色なる花粉

□旅にて歌へる　那古井潞子

はろばろとはろけきかなたわが姉さいとしめる吻の住めるてふかなた

言葉なく涙ながらばわが姉の高き枕を涙にしめる

久にしておひし涙し陸かとに逢ふ涙のことなれること

帰り見れば櫻は清く葉を散げ背き葉かげる庭に消せる

日報俳壇

□春燈吟　―其の二十六―　雲雀

草の戸に旭大いなる雲雀かな　水子

野の飯に水飲みなきや揚雲雀　白風

杭打てば畑擴々と鳴く雲雀　紫光

摘み足りて桑畑出る夕雲雀　笛水

雲雀野や舟人堤を逍ひ出し　黄梗子

梨花

藪の中に御輿納まる梨の花　迦南

受雨に伏せて淋し梨花の雨　但人

家鴨小屋の前に草子梨花散る　水子

園主骨て来る梨花に散り盡し　黄梗子

(春燈吟終了)

春季雑詠　昧川

春の野を語り行く徒歩と馬上哉　同

耕の踵延びたる草履かな　同

舟人の軽き水棹や風光る　同

池を埋む土工の唄や春の雲　同

夕月に遠山焼くる烟かな　同

菜運ぶ牛に蝶飛ぶ驛かな　のぶ介

ポプラ並木に亜鉛屋根が陽炎へる　同

よその蛙荷ほ鳴いて居る曇り哉　同

幾日か蛮鉦れて蛙淋しき　同

子等の遊びにや折れ咲けり董　竹骨

春風に鍵る砂丘の起伏哉　同

工場の捨てゝ湯烟るや春の月　同

藻屑焼く漁村は暮れて春の月　同

陽炎へる屋根に物食む鶏哉　松月

朝風呂に論へる人や春の雨　同

行春を犬と歩むや董原　同

電線に風ある春の夕べ　愛風

監獄の高き塀や梅の果て　飛泉

梅林の小家烟らす月夜哉　忍堂

麥踏める女の唄や春の風　鶯邨

乗鞍に暮遅き陽の渾へる　瑞雨

粗鞍に足呉れ眠たき遅日哉　同

荷馬追ふ唄よ遅日哉　同

子持蕨釣る児に永き日だけ　同

技術紹介 (志村)

京城本町 千代田語

新刊紹介 (到着順)

▲新公論(三三の五) 上田東京帝大教授、林法学博士、西村明大教授、牧野明大教授外十氏の論説に成る有益なる記事あり(四十錢東京々橋加賀町一八共社)

▲ツーリスト(六の三) 和文欧文混合にて旅行の印象と趣味とを載せたり(非賣品東京驛内ジャパン、ツーリスト、ビューロー)

▲東方時論(三の五) 米国の動向と政局の将来…

▲實業界(二六の五) 商品券の最新研究…(二十五錢東京牛込早稲田…)

▲實業之世界(五月號) 十八錢東京麹町區…

▲國語教育(三の五) 二十五錢東京牛込…

▲水産界(四二八) 二十五錢東京…

▲東亜之光(一三の五) 二十六錢東京小石川…

▲青年界(一二の五) 十三錢東京…

▲小説の友(三の五) 十八錢東京…

▲ジャパンタイムス學生號(七の一八) 十三錢東京…

▲婦人週報(四の一八) …

▲家庭のローマ字(五月號) 十錢東京麹町區…

▲ローマ字(三の五) 十二錢東京…

▲皮革世界(五月號) 十五錢東京…

▲國民法律(五月號) 七錢、東京麹町區…

▲電氣旬報(二三五) 五錢、大阪…

▲ミツワ文庫(五月號) 十錢、東京日本…

▲保險新聞(八の六) 十二錢…

▲朝鮮貿易月表(七年二月) 朝鮮總督府…

▲滿蒙研究彙報(二七) 會員に頒布するものにて會費一箇月三十錢(滿蒙研究會)

讀者の領分

[illegible]

京染 京都市永楽町たまや出張店 電話二九六 呉服

院長 醫學士 森 定吉 (芙蓉醫院改め) 内科・小兒科 森病院 京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡 電話二六二三番

七九地二反特價 二円九十戔 東京市赤阪區田町七ノ二 東洋商會

賜天覧 收入多き有望職業 月收九十圓以上 二三百圓 内外

無試驗開業

京日案内

朝鮮人子供參名至急入用 京城旭町一丁目 中島印刷所 74

看護婦見習若干名入用 …71

小川家畜醫院 京城明治町一丁目 71

店員募集 谷敬介商店 73

朝鮮名産 高麗人參 朝鮮京城南大門通 ラムネ販賣人 東洋人參商會

恩給年金 立替 西村商會 623

ほねつぎ 柔術道場 24

年金恩給 江州屋本店 47

下關期米 大阪期米

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the present. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

人參を主薬とし之に沃度及臭素剤を配合せる ◎ミツワ複方人參錠

主効 動脈硬化、動脈瘤、脳溢血、神経性心悸亢進、心臓肥大、脂肪心、心臓内膜炎、神経衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、不眠、精力減退、老衰、貧血…

◎ミツワ複方人參錠適應症候

Scientific Research Made MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠剤とさせる ◎ミツワ人參錠

主効 神経衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、脳充血、脳貧血、不眠、精力減退、健忘、老衰…

◎ミツワ人參錠適應症候

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓

百円進呈 りんばい病 (請合薬) 帝國醫科大學病院にて分析料百圓 にせ物 大阪有田ドラッグ商會本部

實 (大口歓迎) 田村質店 黄金町長橋町入口 電話二九二六番

釜山出帆廣告

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告 仁川支店

日本郵船仁川出帆 尼崎汽船仁川出帆 三共同汽船仁川出帆 朝鮮郵船出帆